

令和4年陸別町議会3月定例会会議録（第3号）

招集の場所	陸別町役場議場					
開閉会日時	開会	令和4年3月10日 午前10時00分			議長	本田 学
及び宣告	散会	令和4年3月10日 午後2時46分			議長	本田 学
応（不応）招議員及び出席並びに欠席議員	議席番号	氏名	出席等の別	議席番号	氏名	出席等の別
出席 7人	1	中村佳代子	○			
欠席 0人	2	三輪隼平	○			
凡例	3	久保広幸	○			
○ 出席を示す	4	谷 郁 司	○			
▲ 欠席を示す	6	多胡裕司	○			
× 不応招を示す	7	渡辺三義	○			
▲○ 公務欠席を示す	8	本田 学	○			
会議録署名議員	久保広幸		谷 郁 司			
職務のため議場に出席した者の職氏名	事務局長 庄野勝政			主任主査 竹島美登里		
法第121条の規定により出席した者の職氏名	町 長	野尻秀隆	教育長	有田勝彦		
	監査委員	飯尾清	農業委員会長（議員兼職）	多胡裕司		
町長の委任を受けて出席した者の職氏名	副町長	早坂政志	会計管理者	本間 希		
	総務課長	副島俊樹	町民課長	棟方勝則		
	産業振興課長	今村保広	建設課長	清水光明		
	保健福祉センター次長	丹野景広	国保関寛齋診療所事務長	（丹野景広）		
	総務課参事	高橋直人	総務課主幹	請川義浩		
教育長の委任を受けて出席した者の職氏名	教委次長	空井猛壽				
農業委員会会長の委任を受けて出席した者の職氏名	農委事務局長	瀧口和雄				
選挙管理委員会委員長の委任を受けて出席した者の職氏名						
議 事 日 程	別紙のとおり					
会議に付した事件	別紙のとおり					
会議の経過	別紙のとおり					

◎議事日程

日程	議案番号	件名
1		会議録署名議員の指名
2	議案第22号	令和4年度陸別町一般会計予算
3	議案第23号	令和4年度陸別町国民健康保険事業勘定特別会計予算
4	議案第24号	令和4年度陸別町国民健康保険直営診療施設勘定特別会計予算
5	議案第25号	令和4年度陸別町簡易水道事業特別会計予算
6	議案第26号	令和4年度陸別町公共下水道事業特別会計予算
7	議案第27号	令和4年度陸別町介護保険事業勘定特別会計予算
8	議案第28号	令和4年度陸別町後期高齢者医療特別会計予算

◎会議に付した事件

議事日程のとおり

◎開議宣告

○議長（本田 学君） これより、本日の会議を開きます。

◎日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（本田 学君） 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。
会議録署名議員は、3番久保議員、4番谷議員を指名します。

- ◎日程第2 議案第22号令和4年度陸別町一般会計予算
 - ◎日程第3 議案第23号令和4年度陸別町国民健康保険事業勘定特別会計予算
 - ◎日程第4 議案第24号令和4年度陸別町国民健康保険直営診療施設勘定特別会計予算
 - ◎日程第5 議案第25号令和4年度陸別町簡易水道事業特別会計予算
 - ◎日程第6 議案第26号令和4年度陸別町公共下水道事業特別会計予算
 - ◎日程第7 議案第27号令和4年度陸別町介護保険事業勘定特別会計予算
 - ◎日程第8 議案第28号令和4年度陸別町後期高齢者医療特別会計予算
-

○議長（本田 学君） 日程第2 議案第22号令和4年度陸別町一般会計予算から日程第8 議案第28号令和4年度陸別町後期高齢者医療特別会計予算まで、7件を一括議題とします。

提案理由の説明を求めます。

野尻町長。

○町長（野尻秀隆君）〔登壇〕 議案第22号令和4年度陸別町一般会計予算ですが、歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ48億1,533万円と定めるものであります。

続きまして、議案第23号令和4年度陸別町国民健康保険事業勘定特別会計予算ですが、歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ4億4,428万4,000円と定めるものであります。

続きまして、議案第24号令和4年度陸別町国民健康保険直営診療施設勘定特別会計予算ですが、歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ3億4,892万2,000円と定めるものであります。

続きまして、議案第25号令和4年度陸別町簡易水道事業特別会計予算ですが、歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ2億550万6,000円と定めるものであります。

続きまして、議案第26号令和4年度陸別町公共下水道事業特別会計予算ですが、歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ1億3,881万円と定めるものであります。

続きまして、議案第27号令和4年度陸別町介護保険事業勘定特別会計予算ですが、歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ3億1,016万円と定めるものであります。

続きまして、議案第28号令和4年度陸別町後期高齢者医療特別会計予算ですが、歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ4,767万4,000円と定めるものであります。

以上、議案第22号から議案第28号まで、7件を一括提案させていただきます。

内容につきましては、副町長から説明を申し上げますので、御審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○議長（本田 学君） 早坂副町長。

○副町長（早坂政志君） それでは、私のほうから議案第22号から議案第28号まで一括して説明をさせていただきます。長時間の説明となると思いますが、よろしくお願いいたします。

説明に当たりまして、全会計の共通事項であります。令和3年度を昨年度または前年度、令和4年度を今年度または本年度としまして、新規事業、大型事業、主要事業を中心に説明をさせていただきたいと思っております。

次に、人件費の関係であります。特別職、一般職、会計年度任用職員の人件費関係につきましては、各会計の歳出の次に給与費明細書がありますので、その中に前年度と当初の比較をした表などもつけてあります。それから議案説明書、資料ナンバー88に科目別職員数調べをつけてありますので、後ほど御覧いただきたいと思っております。

次に、ますます高騰する燃料費の関係であります。今年1月中旬の単価を使い予算を編成しております。全ての燃料費のところでは前年度より増額となっておりますので、それぞれでの説明は省略させていただきます。

また、科目の節において、金額は違いますが例年と同様の考えで計上している内容のものにつきましては、例年同様の計上として説明をさせていただきますので、あらかじめ御承知いただきたいと思っております。

それでは、初めに、本年度予算の総括について説明をいたします。

議案説明書、資料ナンバー20を御覧ください。

資料につきましては、令和4年度陸別町予算総括表でありまして、令和4年度当初予

算と令和3年度の当初予算を比較した表となっております。

内容につきましては、町政執行方針におきまして町長が述べておりますけれども、昨年の当初予算額と比較しますと、一般会計では1億3,009万3,000円の減額、特別会計も合わせました全会計では1億2,801万6,000円の減額であります。

なお、資料にはございませんが、一般会計の経常経費につきましては26億1,114万2,000円で、前年度より1億1,356万円の増、一方、臨時経費、投資的経費につきましては22億418万8,000円でありまして、2億4,365万3,000円の減となっております。

一般会計の当初予算における昨年との比較であります。地方交付税が9,989万7,000円の増、基金が6,707万5,000円の増、地方債は2億9,162万3,000円の減によりまして収支のバランスを取っております。

また、資料ナンバー21には地方交付税の状況、22には過疎対策事業の過疎地域自立促進特別事業、いわゆる過疎ソフトの一覧表をつけております。

戻りまして、資料ナンバー3になりますが、資料ナンバーの3に令和2年度末現在から令和4年度の予算計上による現在額までを記載しました基金別積立金の状況の資料がつけてありますので、後ほど御覧いただきたいと思っております。

それでは、これより議案の説明に入らせていただきます。

議案書、一般会計予算の1ページをお開きください。

議案第22号令和4年度陸別町の一般会計予算は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算。

第1条第2項、歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第1表歳入歳出予算」による。

債務負担行為。

第2条、地方自治法第214条の規定により、債務を負担することができる事項、期間及び限度額は、「第2表債務負担行為」による。

地方債。

第3条、地方自治法第230条第1項の規定により起こすことができる地方債の起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、「第3表地方債」による。

一時借入金。

第4条、地方自治法第235条の3第2項の規定による一時借入金の借入れの最高額は10億円と定める。

歳出予算の流用。

第5条、地方自治法第220条第2項ただし書きの規定により、歳出予算の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

第1号、各項に計上した給料、職員手当及び共済費に係る予算額に過不足を生じた場合における同一款内でのこれらの経費の各項の間の流用。

それでは、これより事項別明細書により説明をいたします。

歳出から説明をいたしますので、40ページをお開きください。

40ページ、3、歳出であります。

それでは、款ごとに説明をまいります。

1款1項1目議会費は5,119万5,000円、前年比38万8,000円の減額の予算計上であります。早速ですが、次に42ページをお開きください。42ページの17節備品購入費の事務用備品であります。これは議会広報用のデジタルカメラの更新でありまして、このほかの議会費につきましては、40ページの1節報酬か42ページ18節負担金補助及び交付金まで、例年同様の計上であります。

2款総務費1項総務管理費1目一般管理費は2億6,414万3,000円、前年比3,234万の増額の予算計上であります。増額の主な要因としましては、3節職員手当等、43ページに掲載となっております退職手当組合費の増額であります。これは令和4年度が、令和元年度から令和3年度までの精算の年となりまして、この精算金が3,190万3,000円です。当町ではこの間、複数名、5名いるのですが、自己都合による退職者が発生したことが主な要因であります。次に46ページをお開きください。18節の負担金補助及び交付金の北海道自治体情報システム協議会への負担金が自治体オンライン手続推進に要する経費602万8,000円を新たに計上するなど、前年度より463万9,000円の増額となっております。

なお、全会計における負担金の総額につきましては、システム改修や新事業への取組に係る新たな経費負担によりまして、前年度当初より1,199万4,000円の増額で計上しております。議案説明書、資料ナンバー23に全会計分の令和4年度北海道自治体情報システム協議会負担金の内訳がつけてありますので、後ほど御覧いただきたいと思っております。

続きまして、2目文書広報費は874万4,000円、前年比22万6,000円の増額の計上で、46ページの1節報酬から17ページの18節負担金補助及び交付金まで、例年同様の計上であります。

47ページの下段になります。3目財政管理費は69万3,000円で、前年比1万9,000円の増額であります。予算書の印刷で、例年同様の計上であります。

4目会計管理費は335万3,000円、前年比9,000円の減額の計上で、10節需用費から次のページの11節役務費まで、金融機関に対する口座振替、窓口収納、派出事務、手数料と10節需用費の印刷製本費につきましては、決算書と出納関係帳票の印刷が主な内容でありまして、例年同様の計上であります。

続きまして、48ページをお開きください。

48ページの中段、5目財産管理費ですが2億7,039万7,000円、前年比1,087万6,000円の減額の計上であります。この目では、主に財産関係の管理経費で、総務課の関係では、役場庁舎、福祉館、公用車、りくべつ鉄道などの維持管理や公共施

設の除排雪、基金関係などの予算、町民課関係では、地積図、テレビ中継局、光ケーブル通信管理などの予算、教育委員会関係では、タウンホールの維持管理などが計上されております。

本年度の主な事業内容について御説明をいたします。50ページをお開きください。

まず、12節の委託料の上から4番目、福祉バス代替車両等運行であります。これまで17年間使用してまいりまして更新時期を迎えております。現有の福祉バスであります。このバスについては更新をせず、スクールバス等の利用に加え、大人数の利用の際には町外バス会社の大型車を利用して運行委託により対応しようとするものであります。210万2,000円計上しております。4事業空けまして、車両運行管理であります。これは町長公用車の運行委託料でありまして、昨年は陸別ハイヤーの借上げで対応しまして、町長公用車については町で保管しておりましたが、利用が少なく経費だけがかかってしまいますので、この車両の有効利用について検討した結果、スクールバスと同様、町有車両を利用して運行委託とするもので102万2,000円を計上いたしました。51ページになりますが、51ページの一つ目の基本設計につきましては、役場庁舎の衛生器具、給排水設備と更新に係る実施設計でありまして、次年度以降の庁舎改修実施のため718万8,000円を計上いたしました。次に、タウンホール管理の中の一番下を御覧ください。設備改修であります。これはタウンホールの現有の音響機器が部品がないなど今後の修理が不可能な状況でありまして、機器自体も限界に来ておりますことから、令和4年度は1,408万円を計上し、令和5年度と2か年で更新をしようとするものであります。議案説明書、資料ナンバー24に年度ごとに更新する機器等を掲載しておりますので、後ほど御覧いただきたいと思っております。

次に、52ページをお開きください。

14節工事請負費に移りまして、建物解体であります。平成27年に寄附を受けました旧鹿野水産店舗等の解体でありまして1,649万3,000円の計上。令和3年度内にアスベスト調査、その後の実施設計等を実施したことで、期間がなく解体ができなかったため、改めて新年度で計上したものであります。次の福祉館改修は、小利別駅舎の待合室の改修と中斗満交流センターの屋根防水工事で、合わせて977万7,000円の計上。次の庁舎改修は役場庁舎の改修で、令和4年度につきましては、屋上防水、機械設備、電気設備の改修で7,475万4,000円の計上であります。この3件につきましては、議案説明書、資料ナンバー25から28にそれぞれの解体・改修箇所図がつけてありますので、後ほど御覧いただきたいと思っております。

次に、17節の備品購入費の管理用備品であります。庁舎用の事務椅子15脚、メタルラック1台、施設用のインパクトドライバー1台、消火器が車両庫用4本、福祉館等用13本などで110万5,000円の計上であります。

次に、53ページに移りまして、22節償還金利子及び割引料につきましては、備荒資金組合への譲渡事業償還金であります。平成18年に購入で、15年が経過し、走行

距離30万キロ以上となりました公用車1台の更新について、譲渡事業により行おうとするものであります。議案説明書、資料ナンバー29に公用車購入事業の資料をつけておりますので、後ほど御覧いただきたいと思っております。

このほか、48ページの1節報酬から54ページ26節公課費までの内容につきましては、例年同様の計上であります。

54ページをお開きください。

6目町有林野管理費は4,023万5,000円、前年比281万9,000円の減額の計上であります。町有林の森林環境保全整備につきましては、森林組合と協議をしながら後年度の植栽量等を勘案しながら事業を進めているところであります。新年度につきましては、植栽等で63.87ヘクタール、単独造林で地ごしらえ0.8ヘクタール、野ネズミ駆除362.3ヘクタール、主伐12ヘクタールを予定しております。議案説明書、資料ナンバー30-1に町有林管理事業収支一覧表、30-2に事業の実施箇所位置図が付けてありますので、後ほど御覧いただきたいと思っております。なお、この目につきましては、54ページ1節報酬から55ページ26節公課費まで、例年同様の計上となっております。

続きまして、55ページの7目企画費であります。8,101万5,000円、前年比311万3,000円の増額の計上であります。この目では、移住体験住宅、定住促進住宅、移住産業研修センターなどの管理経費や、ふるさと納税促進事業、地域交通関連の補助、地域創生関連経費など、まちづくり関係の予算が計上されております。なお、これまで食事を提供してきました移住産業研修センターであります。入居者からのニーズが非常に少ないため、新年度からの食事提供は中止することといたしました。

それでは、56ページを飛ばしまして、57ページのほうを御覧ください。

57ページの12節委託料であります。ふるさと納税業務委託につきましては、新年度は前年度より50件増の650件を見込みまして529万9,000円の計上であります。

次に58ページをお開きください。

58ページの18節負担金補助及び交付金の、中央付近に記載の地方創生推進交付金事業負担金であります。これは、前年と同じ三つの連携事業への負担金202万5,000円の計上であります。一つ飛ばしまして、通学定期差額補助事業につきましては、高校生の通学定期購入に係る補助で、22名分、682万6,000円の計上。補助金につきましては、移住定住促進住宅建設等補助で1,400万円、まちづくり事業200万円、民間活用住宅建設事業は世帯用4戸分で1,600万円、太陽光発電設置事業3件分で150万円、しばれ技術開発研究事業97万5,000円、景観形成事業補助金10件で500万円の計上であります。続きまして59ページになります。上から三つ目、地域内交通対策事業につきましては、前年7月から実証実験として運行してまいりましたデマンド型乗合タクシーの利用者等の御意見を踏まえまして、新年度につきましては、

一般乗用旅客事業運送事業、通常のハイヤー運行の事業の中で陸別町内の乗車に対する助成といたしまして、診療所から薬局までの乗車については無料とします。そのほかにつきましては、1台1運行につきまして200円で乗車できるように変更しまして1,586万1,000円を計上いたしました。そのほかの55ページの1節報酬から59ページの18節負担金補助及び交付金までの内容につきましては、例年同様の計上であります。

次に、8目公平委員会費は2万3,000円の計上で、前年同様同額であります。

9目交通安全対策費も112万7,000円、前年比2,000円の減額の計上ですが、59ページの8節から旅費60ページの18節負担金補助及び交付金まで、例年同様であります。

60ページを御覧ください。

10目諸費につきましても347万円、前年比1,000円の増額の計上で、60ページの1節報酬から62ページの18節負担金補助及び交付金まで、例年同様であります。

続きまして、61ページの11目交流センター管理費であります3,713万円、前年比1,602万9,000円の減額の計上であります。この目につきましては、主にふるさと交流センターの管理運営費を計上しております。議案説明書、資料ナンバー31にふるさと交流センター運営事業の一覧がありますので、後ほど御覧いただきたいと思っております。続きまして62ページをお開きください。62ページの12節委託料の一つ目、施設設備等改修につきまいては、ふるさと交流センターのトイレの手洗い蛇口の自動水栓化と換気扇の取替えであります。それから14節工事請負費の施設設備改修につきまいては、待合から陸別駅構内を見ながらワーケーションが行えるようにブースを設置しようとするものでありまして113万8,000円の計上。17節備品購入費の管理用備品につきましては、ワーケーションブースで使いますWi-Fiのアクセスポイントと施設内の消火器11台分、29万6,000円の計上であります。議案説明書、資料ナンバー32にワーケーションブースの設置箇所図とイメージ図をつけておりますので、後ほど御覧いただきたいと思っております。このほかの61ページの10節需用費から62ページの13節使用料及び賃借料までは、例年同様の計上であります。

次に、12目銀河の森管理費であります7,937万6,000円、前年比579万2,000円の増額の計上であります。64ページをお開きください。64ページの10節需用費の印刷製本費であります70万9,000円のうちワーケーションPR用パンフレット2,000部の印刷65万5,000円を計上しております。令和3年度で北海道の補助制度を利用し、コテージにおいてワーケーションができるように環境整備をしましたので、これらをPRして、さらに集客に努めたいという考えであります。次に、66ページをお開きください。14節の工事請負費の施設設備改修につきまいては、天文台の展示室のパネルの照明のLED化工事であります。現在利用の電球につき

ましては、照度が低いにもかかわらず球切れがしやすく、しかも最近はなかなか入手が困難な状況となっております。省電力化も踏まえまして、展示室パネルの照明をLEDに取替えようとするものであります。議案説明書、資料ナンバー34に工事箇所図をつけておりますので、後ほど御覧いただきたいと思っております。次、17節の備品購入費の管理用備品であります。これは天文台用の望遠鏡やカメラ部品を収納するドライボックス1台、券売機1台、和布団セット2組、消火器9本と、コテージ村用消火器9本であります。これ以外62ページの1節報酬から66ページの18節負担金補助及び交付金まで、例年同様の計上であります。なお、議案説明書、資料ナンバー33に銀河の森の委託料の内訳をつけておりますので、後ほど御覧いただきたいと思っております。

次に、13目地域活性化推進費であります。1,191万8,000円、前年比1,604万4,000円の減額の計上であります。まず、薬用植物研究事業であります。研究開始から8年が経過しまして、この間、陸別町で活用できそうな薬用植物の研究によりマニュアル等も発行しております。これらを踏まえまして、この事業につきましては、様々な御意見をいただいております。現在の圃場の管理とともに、特に有用な植物の育成ですとか商品開発を行っていくことを目標としまして、今後進めていくために総額271万6,000円を計上しております。また、地域おこし協力隊につきましては、現在商工観光推進員のみとなっております。新たに地域支え合い推進員を募集することとしまして、総額で868万9,000円を計上いたしました。1節報酬から68ページの18節負担金補助及び交付金まで1,604万4,000円の減額の計上であります。なお、17節備品購入費の事務用備品につきましては、事務用のノートパソコン2台で39万円の計上であります。

続きまして、69ページのほうをお開きください。

69ページ、一番上になりますが、これまで、札幌までの普通旅費を計上してきました。企業誘致対策費であります。長年未執行であったことを鑑みまして廃目とすることといたしました。なお、この関係での必要な予算につきましては、まず旅費で計上しております。1目一般管理費の旅費にて対応してまいりたいと考えております。

続きまして、2項徴税费1目税務総務費であります。2,325万8,000円、前年比217万3,000円の減額の予算計上であります。職員の人件費が前年度より減額となりましたが、その他、69ページの1節報酬から70ページの22節償還金利子及び割引料まで、例年同様の計上であります。

続きまして、70ページをお開きください。

2目賦課徴収費は584万円、前年比183万5,000円の増額の計上であります。71ページの12節委託料の固定資産鑑定評価についてであります。3年に一度の固定資産の評価替えが令和6年度に行われますが、そのための22地点分の宅地鑑定評価のため150万1,000円の計上であります。そのほか、8節旅費から次のページの1

8節負担金補助及び交付金まで例年同様の計上であります。なお、十勝圏複合事務組合につきましては、税滞納整理機構への負担金でありまして、新年度につきましては4名分、63万円を予定しております。

次に、72ページをお開きください。

3項1目戸籍住民基本台帳費につきましては3,334万6,000円、前年比946万6,000円の増額の計上であります。次のページになりますが、18節負担金補助及び交付金の北海道自治体情報システム協議会の負担金の増が主な要因であります。新たなものとしまして、全額国庫補助となります戸籍情報システムの改修、戸籍情報システム機器の導入で約477万4,000円、補助対象外の部分では町内ネットワーク設定変更に係る負担金5万6,000円などにより増額となっております。そのほかの72ページの2節給料から次のページの12節委託料まで、例年同様の計上であります。

73ページに移りまして、4項選挙費1目選挙管理委員会費は762万7,000円、前年比54万7,000円の増額の計上であります。73ページの1節報酬から75ページの18節負担金補助及び交付金まで、例年同様の計上であります。

続きまして、75ページのほうを御覧ください。

2目参議院議員選挙費は、皆増の574万円の計上であります。令和4年度に執行され、1節報酬から76ページの13節使用料及び賃借料まで、所要の経費を計上いたしました。なお、国政選挙でありますので、国の基準に基づく国庫委託金の収入を計上しております。

次に、76ページをお開きください。

3目知事道議会議員選挙費につきましても、皆増の317万9,000円の計上であります。こちらは、統一地方選挙としまして令和5年度に執行されますが、年度中に準備を進めなければなりませんので、令和5年3月末までに係る1節報酬から次のページの13節使用料及び賃借料まで、所要の経費を計上いたしました。なお、こちらは北海道の選挙でありますので、道の基準に基づきます道委託金の収入を計上しております。

昨年度執行されました衆議院議員選挙費につきましては、廃目となります。

続きまして、78ページをお開きください。

78ページ、5項統計調査費1目指定統計調査費につきましては11万5,000円、前年比37万9,000円の減額の計上であります。新年度の調査につきましては、宅地土地調査単位区設定、就業構造調査、経済センサス、教育統計調査となっております。1節報酬から11節役務費のとりの計上となっております。こちらも同額が道の委託金で交付されることとなります。

6項1目監査委員費は230万7,000円、前年比2,000円の増額の計上で、1節報酬から18節負担金補助及び交付金まで例年同様の計上であります。

79ページの3款民生費1項社会福祉費1目社会福祉総務費につきましては3億9,773万3,000円、前年比341万5,000円の増額の計上であります。82ページ

を御覧ください。14節の工事請負費であります。防犯灯のLED化事業でありまして、今年共栄第二の34基の設置外で394万3,000円の計上であります。議案説明書、資料ナンバー35に箇所図をつけておりますので、後ほど御覧いただきたいと思っております。次に、18節の負担金補助及び交付金であります。このうち社会福祉協議会の補助金につきましては、法人運営費、患者移送サービス、訪問介護を合わせまして3,447万4,000円、前年比710万2,000円の増となり、法人運営費では臨時職員の通年雇用などによります人件費分と、新たに事務費分の補助による増、患者移送サービス事業では車両購入による増となっております。車両購入につきましては、社協の車両購入基金充当後の不足額232万9,000円を補助しようとするものであります。議案説明書、資料ナンバー36に社会福祉協議会補助金算定内訳書、同じく、資料ナンバー37に患者移送サービス事業用車両の仕様書をつけておりますので、後ほど御覧いただきたいと思っております。続きまして、84ページをお開きください。上から二つ目の冬季生活支援事業につきましては、実績から150万円の計上であります。27節繰出金は、国民健康保険事業勘定特別会計への繰出金2,953万2,000円で、前年より169万7,000円の増。それから、介護保険事業勘定特別会計への繰出金は4,789万6,000円で、前年より98万4,000円の減となっております。その他のものにつきましては、79ページの1節報酬から84ページの26節公課費まで、例年同様の計上であります。

続きまして、2目老人福祉費であります。8,111万円、前年比80万1,000円の増額の計上であります。まず、次のページの7節報償費の敬老祝い金であります。こちらは77歳の喜寿が31名、88歳の米寿が22名、100歳の長寿が1名の方の分を計上しております。次に、86ページをお開きください。86ページの12節委託料の上から四つ目の高齢者在宅生活支援事業であります。これは生きがいホーム通所事業であります。新年度におきましては、より多くの方に御利用いただくために、1日660円だった利用料を無料としまして、引き続き実施いたします。次に、下から二つ目の施設設備改修であります。これは老人健康増進センターの排煙窓でありまして、開閉できない場所がもう既にあります。それから全部の窓において不具合が生じておりまして、消防からの指摘も受けまして、8か所全てを修繕するものであります。108万9,000円の計上であります。議案説明書、資料ナンバー38に修繕箇所図をつけておりますので、後ほど御覧いただきたいと思っております。続きまして、87ページの13節使用料及び賃借料であります。こちらは老人緊急通報システム借上料で、21台設置しまして123万2,000円の計上。17節の備品購入費の管理用備品につきましては、ゲートボール場用の屋外ベンチ8台、福寿荘用のストーブ2台、それから同じく福寿荘用のサーキュレーター2台で38万円の計上。18節負担金補助及び交付金のうちデイサービス運営事業の補助金につきましては1,959万6,000円で、前年比53万円の減額の計上であります。一つ飛びまして、老人福祉施設等整備事業につきまして

は、老朽化が著しいデイサービスセンターの屋根の塗装工事に係る補助でありまして625万4,000円の計上であります。なお、この屋根の塗装工事につきましては、全面をシリコン樹脂塗装とする考えであります。なお、議案説明書、資料ナンバー4にデイサービスセンター運営費補助の資料、それから同じく、資料ナンバー39に屋根塗装箇所図をつけておりますので、後ほど御覧いただきたいと思っております。この目につきましては、このほか、84ページの1節報酬から87ページの26節公課費まで、例年同様の計上であります。

次に、3目後期高齢者医療費につきましては4,952万円、前年比124万5,000円の減額の計上であります。88ページをお開きください。18節の負担金補助及び交付金につきましては、北海道後期高齢者医療広域連合への負担金3,214万1,000円でありまして、前年度より36万6,000円の増額であります。27節繰出金につきましては、後期高齢者医療特別会計への繰出金1,737万9,000円で、前年度より161万1,000円の減額の計上であります。

続きまして、2項児童福祉費1目児童福祉総務費は1,161万6,000円、前年比169万3,000円の増額の計上で、1節報酬から18節負担金補助及び交付金まで、例年同様の計上であります。89ページの19節扶助費に移りまして、この扶助費のうち給付費の障害者介護給付費につきましては、帯広の放課後デイサービスの利用者が1名発生したことによりまして、前年より267万7,000円の増額となっております。

2目児童福祉施設費につきましては7,558万1,000円、前年比1,554万1,000円の減額の計上であります。前年度につきましては、1歳児からの保育開始に向けました保育所の改修工事2,728万円の計上などがありまして、今年度の減額の要因となっております。それでは92ページをお開きください。12節の委託料の一番下になります。施設設備改修につきましては、遊戯室、屋外のスピーカー4台の取替えと鉄棒用のグラウンドマットの設置など118万7,000円の計上であります。93ページに移りまして、17節備品購入費の管理用備品につきましては、新たに保育所に必要な各種管理用の備品99万7,000円の計上でありまして、議案説明書、資料ナンバー40に購入しようとする備品の一覧をつけております。後ほど御覧いただきたいと思っております。この目は、このほか、89ページの1節報酬から93ページの21節補償補填及び賠償金まで、例年同様の計上となっております。

3目児童措置費2,352万円、前年比1万円の減額の計上で、19節扶助費の児童手当の対象者178名分の計上であります。

続きまして、4款衛生費1項保健衛生費1目保健衛生総務費5,553万6,000円、前年比324万6,000円の減額の予算計上であります。2節給料から4節共済費までの人件費での減額が主な要因であります。その他につきましては、94ページの8節旅費から95ページの26節公課費まで、例年同様の計上であります。

続きまして、96ページをお開きください。

96ページは、2目保健衛生施設費で7,083万1,000円、前年比3,963万8,000円の増額の計上であります。96ページの一番下になりますが、12節委託料の施設設備改修93万5,000円のうち女子トイレの便器交換1台、貯水槽用塩素タンクの交換、それから真空式温水器の修繕、これで52万2,000円の計上であります。97ページに移りまして、14節工事請負費であります。こちらは前年度から実施しております屋上防水改修工事4,092万3,000円の計上であります。議案説明書、資料ナンバー41に工事箇所図がつけてありますので、後ほど御覧いただきたいと思います。17節の備品購入費の管理用備品につきましては、防犯用のさすまた1本と研修室の壁かけ時計1個で2万3,000円の計上となっております。このほか、96ページの1節報酬から97ページの13節使用料及び賃借料まで、例年同様の計上であります。

次の3目予防費は3,416万2,000円、前年比1,093万円の減額の計上であります。1節報酬のうち委員報酬につきましては、先日議決をいただきました予防接種健康被害調査委員3名、3回分で10万8,000円の計上であります。次に、98ページをお開きください。98ページ下段の12節委託料であります。このうち各種検診事業につきましては、母子保健事業、成人保健事業、風疹追加対策事業が含まれておまして911万2,000円、前年比35万8,000円の増額の計上であります。各種予防接種につきましては789万3,000円、前年比132万円の増額の計上となっております。議案説明書、資料ナンバー42に母子保健事業の一覧、資料ナンバー43-1から6に成人保健事業の一覧、資料ナンバー44-1から2に予防接種事業の一覧をつけておりますので、こちらも後ほど御覧いただきたいと思います。続きまして99ページのほうを御覧いただきまして、新型コロナワクチンの接種であります。議案説明書、資料ナンバー45の新型コロナウイルスワクチン接種事業を御覧いただきたいと思います。この事業につきましては、既に今年1月から開始している事業の継続となります。今回接種の対象者は、今まで初回接種を受けていない12歳以上の町民と5歳から11歳の町民で、追加接種が2回目の接種が完了してから一定期間経過した18歳以上の町民であります。予算額につきましては、1節報酬から12節委託料まで、記載のと通りの計上となっております。総額で1,055万7,000円となっております。予算書99ページのほうにお戻りいただきたいと思います。予算書99ページの17節備品購入費であります。パルスオキシメーター1台と歯科診療用ライト1台で17万1,000円の計上であります。そのほかにつきましては、98ページ7節報償費から99ページの19節扶助費まで、例年同様の計上となっております。

次に、100ページを御覧ください。

100ページの4目環境衛生費であります。425万6,000円、前年比163万3,000円の減額の計上であります。前年度は、基地の擁壁等の等の補修工事がありましたので今年度の減額となっております。1節報酬から次のページの12節委託料ま

で、例年同様の計上であります。次のページに移りまして、18節負担金補助及び交付金の技能講習受講料につきましては、職員が直営で草刈りを行うための2名分の受講料であります。

5目診療所費は1億8,028万円、昨年比623万6,000円の増額の計上で、これは、国民健康保険直営診療施設勘定特別会計への繰出金であります。

2項清掃費1目清掃総務費は509万3,000円、前年比30万4,000円の増額の計上で、18節負担金補助及び交付金は、例年同様の計上であります。

続きまして、102ページをお開きください。

102ページの2目塵芥処理費であります。7,618万1,000円、前年比196万3,000円の減額の計上であります。前年度はトラックスケールの更新がありましたので、その関係で今年度の減額となっております。102ページの8節旅費から103ページの26節公課費まで、例年同様の計上となっております。なお、次のページ、103ページの17節備品購入費の管理用備品であります。ストックヤード用の消火器1本と、作業用備品であります。冬期間のD型ハウス内での作業中の寒さ対策としてジェットヒーター2台を新たに購入するものであります。

続きまして、104ページをお開きください。

3項水道費1目専用水道費につきましては1,361万円、前年比4,354万9,000円の減額の計上で、これは小利別地区専用水道に係る管理運営費であります。105ページの14節工事請負費につきましては、小利別地区専用水道の長寿命化・防災減災計画に基づきます機器更新工事でありまして700万円の計上であります。前年より4,200万円の減額となっております。議案説明書、資料ナンバー46に機器更新工事箇所図が付けてありますので、後ほど御覧いただきたいと思っております。次の17節備品購入費の管理用備品につきましては、水道メーター5戸分で13万3,000円の計上。そのほかの104ページの8節旅費から105ページの18節負担金補助及び交付金まで、例年同様の計上であります。

2目水道費は1億2,911万3,000円、前年比90万7,000円の減額の計上で、これは簡易水道事業特別会計への繰出金であります。

続きまして、106ページをお開きください。

106ページ、5款労働費1項1目労働諸費についてであります。99万3,000円、前年比46万4,000円の減額の予算計上で、1節報酬から18節負担金補助及び交付金まで例年同様の計上となっております。昨年度までこの目で計上しておりました振動病予防対策事業につきましては、本年度から森林環境譲与税事業において計上することといたしました。

2目緊急雇用対策費については1,577万円、前年比177万7,000円の減額の計上で、この目につきましても、10節需用費から次のページの15節原材料費まで、例年同様の計上であります。令和2年度の実績に基づき委託料を減額いたしました。

この事業につきましては、建設業関係で3事業所、林業関係で6事業所を見込んでおります。

107ページのほうに移りまして、3目雇用再生対策費は1,040万円、前年比102万円の増額の計上でありまして、18節負担金補助及び交付金は、事業者雇用促進支援であります。

この補助金につきましては、制度改正により運用したいと考えておりますので、議案説明書、資料ナンバー47をお開きいただきたいと思っております。事業制度の考え方ではありますが、これまで、せっかく陸別町内での雇用につながっても、短期で退職する方が非常に多くなっております。また、この制度の利用者が一部の事業主に偏っていることなどを解消しようとするものであります。対象経費につきましては、給料12か月分から24か月分としまして、月額を5万円から3万円とします。ただ、補助の総額については60万円から72万円に増額となります。助成金の対象につきましては、12か月ごとの申請としまして、申請時に退職していた場合は対象といたしません。1事業所の対象人数につきましては、1年度内に2名までといたします。また、新規に雇い入れた時点で60歳未満の方に対象年齢を拡大します。なお、移転費用等につきましては、これまでも実績がなかったことから、廃止といたします。

これにより、働く方も補助金をもらう雇用主につきましても、少しでも長く勤めていただけるように努力をしていただきたいというふうに考えるところであります。なお、令和4年度の予算につきましては、新規就労者15名分、継続就労者18名分の予算を計上しております。

それでは、予算書の107ページにお戻りください。

107ページ、6款農林水産業費1項農業費1目農業委員会費であります。1,903万5,000円、前年比117万9,000円の増額の予算計上であります。109ページのほうをお開きください。109ページの12節委託料の農地情報公開システム整備事業であります。これは農地地図システム保守の11万円と、内地番データ修正業務198万円の合わせて209万円の計上であります。現在、取り込もうとしている地籍との差異がある場所について修正をしようとするものであります。このほか、107ページの1節報酬から109ページの18節負担金補助及び交付金まで、例年同様の計上であります。

続きまして、2目の農業総務費につきましては6,465万円、前年比449万2,000円の増額の計上で、この目につきましては、職員の人件費だけでありまして、2節給料から110ページの4節共済費まで、例年同様の計上となっております。

110ページをお開きください。

110ページの下段になりますが、3目農業振興費は6,344万1,000円、前年比1,729万8,000円の減額の計上であります。1節報酬から12節委託料までは、例年同様の計上であります。次のページの下から3事業目の農業関係制度資金利子

補給事業につきましては、議案説明書、資料ナンバー４８に資金の一覧がつけてありますので、後ほど御覧いただきたいと思います。一番下の青年等結婚支援活動事業につきましては、前年度まで農林推進協議会運営事業に含まれておりましたが、新年度からこの事業が分かりやすく分けて予算を計上しております。１１２ページをお開きください。１１２ページの一番上になりますが、農業次世代人材投資資金、新農業人材育成事業の補助金と新農業人育成事業の交付金につきましては、議案説明書、資料ナンバー５０に、これまでの経緯と新年度の予算を記載した資料をつけておりますので、後ほど御覧いただきたいと思います。次の中山間地域直接支払事業交付金につきましては、前年より１，７１５万９，０００円の減額となっております。

４目畜産業費は４，２０９万３，０００円、前年比６，５３４万２，０００円の減額の計上で、前年につきましては、電力系統連携工事費負担金１，７７５万円、それから家畜糞尿共同処理施設整備事業１，９４３万２，０００円、家畜導入貸付金が６，０００万円だったことが今年度の減額の主な要因となっております。次のページの１８節負担金補助及び交付金のうち電力系統連携工事費負担金につきましては１５０万円の計上で、議案説明書の前のほうに戻りますが、資料ナンバー５に、さきに議決をいただきました補正予算と当初予算を算入しました資料をつけておりますので、後ほど御覧いただきたいと思います。

それでは、続きまして１１４ページをお開きください。１１４ページ、２０節貸付金であります。家畜導入貸付金で、新年度から改めて実施期間を延長いたします。令和４年度につきましては３，０００万円で、次年度以降は６，０００万円を予定しております。議案説明書、資料ナンバー５１に資料をつけておりますので、後ほど御覧いただきたいと思います。このほかの１１２ページの７節報償費から１１４ページの２６節公課費まで、例年同様の計上であります。

○議長（本田 学君） １１時１５分まで休憩します。

休憩 午前１１時０１分

再開 午前１１時１５分

○議長（本田 学君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

早坂副町長。

○副町長（早坂政志君） それでは、続いて１１４ページの５目農地費からを始めたいと思います。

５目農地費につきましては、８，８６２万９，０００円、前年比５，７５０万６，０００円の減額の計上であります。この目では、主に農業関係で、陸別第２地区草地畜産基盤整備事業３，７６４万６，０００円、土木関係では、道営農地整備事業のトマム地区で２，２９９万７，０００円、トマム第２地区が１，２０３万円、道営農道整備特別対策事業の中陸別地区が８２９万８，０００円、農道等維持管理の農業用施設管理事業が７６１万８，０００円の計上となっております。１節報酬から１１節役務費まで、それと１３節の使

用料及び賃借料につきましては、主に道営事業の事務雑費でありますので、説明を省略いたします。115ページを御覧いただきまして、18節負担金補助及び交付金のうち道営土地改良事業地元負担金の内訳につきましては、道営農地整備事業のトマム地区が22.5%で2,193万8,000円、道営農地整備事業の第2トマム地区も22.5%で1,170万円、道営農道整備特別対策事業の中陸別地区が50%で800万円となっております。これらの事業につきましては、議案説明書、資料ナンバー52-1と2に道営農地整備事業の土地箇所図、年度別事業計画、資料ナンバー53に草地畜産基盤整備事業の事業概要がつけてありますので、後ほど御覧いただきたいと思っております。

次に、6目営農用水管理費につきましては1億1,934万4,000円、前年比147万8,000円の減額の計上であります。内訳としましては、上陸別地区の管理経費が40件分で1,309万円、トラリ地区の管理経費が22件分で854万5,000円、道営担い手畑地帯総合整備事業が第2上陸別地区で8,071万7,000円、上陸別地区営農用水配水管整備事業1,453万9,000円、トラリ地区営農用水水道台帳整備事業245万3,000円であります。116ページをお開きください。116ページ、12節の委託料の実施設計につきましては、上陸別地区営農用水配水管整備事業であります。117ページに移りまして、こちらの12節委託料の一番下がトラリ地区営農用水台帳整備事業。14節工事請負費の配水管新設は、上陸別地区営農用水配水管整備事業。17節備品購入費の管理用備品につきましては、上陸別地区用水道メーター5戸分とトラリ地区用水道メーター4戸分で、42万5,000円の計上。18節負担金補助及び交付金の道営土地改良事業地元負担金につきましては、道営担い手畑地帯総合整備事業、第2上陸別地区事業分で27.5%分、4,353万3,000円と、100%になりますが3,672万6,000円、合わせまして8,025万9,000円の計上であります。21節補償補填及び賠償金の水道管切廻しは、上陸別地区営農用水配水管整備事業分であります。議案説明書、資料ナンバー54に配水管整備事業の箇所図をつけております。また、資料ナンバーの前に戻りますが、7-1と2に、道営担い手畑地帯総合整備事業の第2上陸別地区の実績計画表及び工事箇所図をつけておりますので、こちらも後ほど御覧いただきたいと思っております。なお、水道台帳につきましては、新年度でトラリ地区、令和5年度に小利別地区、令和6年度に上陸別地区を整備したいと考えております。

続きまして、118ページをお開きください。

7目公共草地管理費は550万7,000円、前年比129万6,000円の増額の計上であります。119ページのほうの14節工事請負費、農業用施設整備につきましては、トラリ公共草地の給水設備改修工事であります。設備等の老朽化によりまして様々なところで障害が生じております。公共草地内のところどころで給水ができなくなっている状況でありますので、故障箇所等を2か年で改修しようとするものであります。

議案説明書、資料ナンバー55を御覧いただきたいと思っております。資料ナンバー55に

は、今年度はポンプ室の周辺に雨水がたまるために暗渠の布設替えを行います。それから、ポンプ室のチャッキバルブ弁の改修、配水池の排泥バルブの改修、第1号給水槽の給水管路の改修を行いたいと考えております。

それでは、予算書のほうにお戻りください。ただいま説明しました工事請負費以外の1節報酬から18節負担金補助及び交付金までにつきましては、例年同様の計上となっております。

次に、8目農畜産物加工研修センター管理費は1,817万7,000円、前年比100万5,000円の増額の計上で、119ページの1節報酬から121ページの15節原材料費まで、例年同様の計上であります。それでは、121ページを御覧いただきたいと思います。一番下の17節備品購入費、管理用備品につきましては、加工センター用の消火器8本分であります。

次に122ページをお開きください。

2項林業費1目林業振興費であります。1億2,500万7,000円、前年比21万7,000円の増額の計上であります。初めに、陸別地区小規模治山事業についての説明をいたします。123ページの14節工事請負費は1,914万円で、前年より1,265万円の減額。事務費としまして1節報酬45万9,000円、8節旅費3万5,000円、10節需用費19万3,000円、13節使用料及び賃借料15万1,000円で、事業の総額につきましては2,008万8,000円です。議案説明書、資料ナンバー65に工事箇所図をつけておりますので、後ほど御覧いただきたいと思います。次に、18節負担金補助及び交付金ですが、負担金につきましては例年同様でありまして、次に124ページを御覧いただきたいと思います。補助金についてですが、退職金共済制度加入促進事業146万1,000円が52名分、民有林造林促進事業は下刈外3,400万5,000円、林業長期就労促進担い手対策事業91万4,000円で41人分、豊かな森づくり推進事業は人工造林1,742万3,000円の計上です。民有林造林促進事業と豊かな森づくり推進事業につきましては、議案説明書、資料ナンバー57に補助金の内容がつけてありますので、後ほど御覧いただきたいと思います。

次に、森林環境譲与税事業についての説明をいたします。資料により説明をしたいと思いますので、議案説明書、資料ナンバー58を御覧いただきたいと思います。なお、この内容につきましては、予算書とともに御覧いただけると幸いです。

まず、林業担い手対策事業ですが、継続事業の職員の移住セミナー参加のための旅費22万1,000円と補助金の安全衛生教育推進事業及び労働確保及び労働環境整備事業が332万8,000円、この中には振動病検診費用の助成も含めております。もう一つが、新規事業の林業機械等整備事業1,500万円の計上です。この事業につきましては、高性能林業機械等の購入またはリースに要する経費に対しまして、1事業者につき5年で500万円を上限として補助しようとするものであります。次に、森

林作業道補修事業で、これは継続事業で1,932万円の計上。その次の私有林整備事業も継続事業で754万8,000円の計上。次の地域山林活性化推進事業も継続事業で、旅費が4万6,000円、委託料252万6,000円の合計257万2,000円の計上。最後の森林地理情報システム作業用備品購入につきましては、これは新規でありまして、17節の備品購入費の作業用備品の森林地理情報システムモバイル機器166万7,000円の計上であります。

それでは、予算書の124ページのほうを御覧いただきたいと思います。ただいま説明いたしましたとおり、森林環境譲与税事業の合計につきましては、4,965万6,000円となります。

続きまして、2目狩猟費につきましては838万5,000円、前年比169万円の増額の計上であります。内容としましては、1節報酬から18節負担金補助及び交付金まで例年同様の計上ですが、ヒグマわな、カラスわなの巡視員の増員ですとか、エゾシカ駆除を750頭から1,000頭に250頭増やしたことなどで増額となっております。

続きまして、125ページに移りまして、3目林道新設改良費は3,971万9,000円、前年比703万4,000円の増額の計上であります。内訳につきましては、林道管理事業1,299万3,000円、経営林道東トマム高台線改良事業2,012万6,000円、橋りょう維持補修事業660万円です。12節の委託料の林道維持管理につきましては、舗装補修ですとか側溝清掃で305万3,000円、計画等策定につきましては、5年に一回実施しております林道に架かる橋、6路線6橋の点検で660万円の計上です。14節工事請負費につきましては、126ページをお開きいただきまして、林道の法面補修工事は2路線で169万4,000円、林道維持管理工事は側溝整備3路線で649万円、林道改良工事は東トマム高台線の改良工事延長320メートルで1,920万円の計上です。なお、1節報酬から10節需用費までと13節の使用料及び賃借料につきましては、東トマム高台線改良事業の事務雑費です。議案説明書、資料ナンバー59に林道管理事業の工事箇所図、資料ナンバー60に経営林道東トマム高台線改良事業の工事箇所図が付けてありますので、後ほど御覧いただきたいです。

続きまして、7款1項商工費1目商工総務費は1,709万円、前年比162万8,000円の減額の予算計上です。この目につきましては、2節給料から4節共済費まで職員の人件費の計上となっております。

127ページに移りまして、2目商工振興費は1億5,057万4,000円、前年比70万2,000円の増額の計上で、18節負担金補助及び交付金の補助金の三つ目、商工振興事業は商工会への補助金で、前年比429万5,000円の減額となっております。議案説明書、資料ナンバー61に陸別町商工会補助金算出表が付けてありますので、後ほど御覧いただきたいです。一つ飛ばしまして、プレミアム商品券発行事

業であります。プレミアム率20%の4,000セットの発行を2回実施する予定であります。次の小規模企業振興事業は20件分、出前タクシー推進事業は前年度同額の25万円の計上。そのほか、127ページの7節報償費から128ページの20節貸付金まで、例年同様の計上であります。

次に、128ページをお開きください。

3目の観光費は2,129万8,000円、前年比76万6,000円の減額の計上で、17節の備品購入費の管理用備品につきましては、イベント用のテント2張りとイベントで使用しているパソコン1台の更新で39万9,000円の計上。18節負担金補助及び交付金のしばれフェスティバル開催事業補助金は前年同額でありまして、例年より100万円増額して計上しております。このほか、8節旅費から18節負担金補助及び交付金まで例年同様の計上であります。

次のページ、129ページですが、4目公園費は804万9,000円、前年比12万8,000円の減額の計上であります。130ページをお開きください。12節の委託料の一番下になりますが、施設設備等整備は、老朽化しております北陵岳の山小屋の屋根の塗装と軒天改修で101万5,000円の計上であります。議案説明書、資料ナンバー62に工事箇所図と改修内容を掲載しておりますので、後ほど御覧いただきたいと思っております。次の17節備品購入費の管理用備品につきましては、イベントセンター用の消火器6本分8万6,000円の計上。18節負担金補助及び交付金の技能講習受講料は、イベント等で作業をする職員の大型特殊自動車免許取得のための受講料であります。このほか、129ページの10節需用費から130ページの15節原材料費まで、例年同様の計上であります。

131ページに移りまして、5目消費者対策費は24万3,000円、前年比99万5,000円の減額の計上で、専門員の来町回数の減とくらし塾交付金の廃止による減額により7節報償費17万5,000円、8節旅費4万8,000円、10節需用費2万円の計上であります。

続きまして、8款土木費1項土木管理費1目土木総務費であります。4,567万3,000円、前年比381万4,000円の減額の予算計上であります。減額の主な要因につきましては、2節給料から次のページの4節共済費の職員の人件費分でありまして、次の8節旅費からその次のページの26節公課費までは、例年同様の計上であります。

133ページを御覧いただきたいと思っております。

2項道路橋りょう費1目道路橋りょう総務費につきましては2,012万7,000円、前年比846万3,000円の減額の計上で、10節需用費、11節役務費は例年同様の計上。134ページをお開きいただきまして、12節委託料の道路台帳作成及び修正は、前年より312万4,000円減の187万円の計上。16節公有財産購入費は、道路改良に伴います町道関北1線連絡線に係る土地162.42平米であります。議案説明書、資料ナンバー63に町道土地購入の箇所図をつけておりますので、後ほど御覧い

た'dきたい'と思います。次の26節公課費も、前年同様であります。

2目道路維持費は1億5,315万9,000円、前年比108万8,000円の減額の計上で、ここでは町道の維持管理に係る経費を計上しております。次の135ページを御覧ください。14節工事請負費の町道法面補修工事は町道南トマム14号支線外5路線939万4,000円、町道補修修繕工事は町道新町1号通りで770万円、排水整備工事は町道奥斗伏線外2路線で1,161万6,000円を計上いたしました。議案説明書、資料ナンバー64に道路維持費の業務・工事箇所図をつけておりますので、後ほど御覧いただきたい'と思います。そのほかの134ページの10節から15節まで、例年同様の計上であります。

3目橋りょう維持費につきましては9,541万5,000円、前年比1,130万2,000円の増額の計上で、8節旅費は前年同額。12節委託料1,210万円は、計画策定等が町内83橋の橋梁長寿命化補修等事業計画策定のための110万円、測量試験費が桂庵橋改修で1,100万円の計上であります。14節工事請負費6,110万円は、通学橋補修工事で3,910万円、下陸別補修工事2,200万円の計上であります。18節の負担金補助及び交付金は、町内31橋の橋梁点検の北海道市町村支援連絡協議会への負担金2,194万5,000円の計上であります。議案説明書、資料ナンバー65に工事箇所図をつけておりますので、後ほど御覧いただきたい'と思います。

136ページをお開きください。

4目道路新設改良費は5,596万9,000円、前年比5,267万8,000円の減額の計上であります。14節工事請負費を御覧いただきたい'と思います。道路改良工事2,700万円につきましては、町道トマム川沿線で延長400メートル、歩道改良工事2,720万円は町道駅南通りが延長165メートルと町道東1条仲通りが延長220メートルであります。このほか、1節報酬から18節負担金補助及び交付金までの予算につきましては、工事雑費となる経費であります。議案説明書、資料ナンバー66に今の道路整備箇所図がつけてありますので、後ほど御覧いただきたい'と思います。

137ページに移りまして、5目街路灯費は1,004万3,000円、前年比25万1,000円の減額の計上で、10節需用費は電気料と修繕料で前年同様の計上。14節工事請負費は街路灯LED化工事で、町道つつじヶ丘通り外12基を実施いたします。議案説明書、資料ナンバー67に事業箇所図をつけておりますので、後ほど御覧いただきたい'と思います。

続きまして、3項河川費1目河川総務費は647万3,000円、前年比472万9,000円の増額の計上で、14節工事請負費は、普通河川ウリキオナイ川外護岸補修工事、延長25メートル、497万2,000円の計上。16節公有財産購入費は、普通河川取布朱川の河川管理に必要な土地8筆、4,620平米の購入であります。議案説明書、資料ナンバー68に土地購入箇所図をつけておりますので、後ほど御覧いただきたい'と思います。このほか、10節需用費から18節負担金補助及び交付金まで例年同様

の計上であります。

続きまして、138ページをお開きください。

4項住宅費1目住宅管理費は2,762万3,000円、前年比14万8,000円の増額の計上であります。この目は、公営住宅の管理経費の計上でありまして、8節旅費から12節委託料までと、次のページにあります18節負担金補助及び交付金まで、例年同様の計上であります。なお、このうち139ページにあります14節工事請負費の公営住宅改修につきましては、第2緑町団地の給湯器7戸分の更新で503万8,000円。施設設備改修につきましては、第1、第2若葉団地のうち3棟の共用部分の非常用照明30台の更新で181万5,000円。それから外構改修工事につきましては、つつじヶ丘団地正面入り口付近の排水整備で376万2,000円の計上。17節の備品購入費の管理用備品につきましては、町営住宅の共用部に置かれています消火器27本分の更新で38万7,000円の計上であります。

2目住宅建設費は1億5,199万2,000円、前年比184万2,000円の増額の計上であります。この目につきましては、社会資本整備総合交付金事業でありまして、12節委託料は、新町団地の町営住宅のU・V棟の実施設計と、い・う棟の解体実施設計927万3,000円の計上であります。140ページのほうをお開きください。14節工事請負費は、新町団地特定公共賃貸住宅S・T棟の2棟4戸の建設で9,163万円、新町団地町営住宅い・う棟の2棟8戸の解体で2,640万円、新町団地町営住宅A・B・C・D棟の4棟8戸の屋根の塗装で1,320万円、新町団地町営住宅S・T棟の2棟4戸の外構1,090万1,000円の計上であります。議案説明書、資料ナンバー69-1と2に事業箇所図をつけておりますので、後ほど御覧いただきたいと思えます。

続きまして、5項1目下水道費は1億124万7,000円、前年比40万円の減額の計上で、公共下水道事業特別会計への繰出金であります。

次に、9款1項1目消防費であります1億9,016万7,000円、前年比1,819万5,000円の増額の予算計上であります。1節報酬と8節旅費につきましては、さきに議決をいただきました消防団員の報酬と費用弁償の規定の改正に伴いまして、予算額も変更となっております。続きまして、142ページをお開きいただきたいと思えます。142ページの14節工事請負費であります1億4,235万5,000円の計上で、議案説明書、資料ナンバー70に工事箇所図をつけておりますので、後ほど御覧いただきたいと思えます。18節負担金補助及び交付金のとちかち広域消防事務組合への負担金1億6,970万5,000円のうち令和4年度につきましては、消防司令システム消防救急デジタル無線機器更新に係る負担金1,407万2,000円が含まれております。このほか、141ページの9節交際費から143ページの26節公課費まで、例年同様の計上となっております。なお、18節負担金補助及び交付金のとちかち広域消防事務組合へ

の負担金につきましては、消防費負担金の内訳としまして194ページから197ページに明細をつけておりますので、後ほど御覧いただきたいと思ひます。

143ページの2目災害対策費であります。1,074万1,000円、前年比911万5,000円の増額の計上で、12節委託料の防災情報通信整備は、移動系の防災行政無線電波伝搬調査で496万4,000円の計上であります。

資料により説明をしたいと思ひますので、議案説明書、資料ナンバー71を御覧いただきたいと思ひます。当町の現在の移動系防災行政無線につきましてはアナログ波でありまして、平成5年に更新をしておりますが、今後新たに開局する場合につきましてはデジタル波しか認められないということでもありますので、更新に向け調査を行おうとするものであります。電波の伝搬調査は、中継局の規模やアンテナの高さ、場所の選定などを行ひまして、これを基に設計を行うこととなります。次年度以降に更新していきたいと思ひますが、固定局が3局、中継局が1局、車載が13局、ハンディ4局を整備したいと思ひしております。

それでは、予算書の144ページを御覧ください。144ページ、上から二つ目の防災計画等作成支援業務396万円ではありますが、当町の地域防災計画につきましては、基本となる計画は平成21年度に改定をして策定しておりますが、それ以降は町職員によります直営で修正をしてきております。このため、改正された法律ですとか国や道の計画書との内容にずれが生じております。これを専門の業者に委託することで、それらを修正しまして、国道と連動した計画書に改めたいと思ひているものであります。このほか、143ページの1節報酬から144ページ18節負担金補助及び交付金まで、例年同様の計上であります。

続きまして、10款教育費1項教育総務費であります。1目教育委員会費は163万1,000円、前年比1万4,000円の減額の予算計上で、1節報酬から次のページの18節負担金補助及び交付金まで、前年同様の計上であります。

次のページ、145ページの2目事務局費につきましては1億1,973万2,000円、前年比355万5,000円の増額の計上であります。147ページを御覧いただきたいと思ひます。147ページの14節工事請負費ではありますが、下陸別の教員住宅1棟1戸の建替えて、建設工事4,020万8,000円、外構工事238万7,000円の計上で、これは令和3年度にアスベスト調査の実施などで実施できなかった工事につきまして改めて令和4年度の予算で計上したものであります。議案説明書、資料ナンバー72に教員住宅建替予定位置図をつけておりますので、後ほど御覧いただきたいと思ひます。なお、17節の備品購入費は、新築住宅の物置、照明器具で41万1,000円を計上しております。148ページを御覧ください。20節の貸付金ではありますが、奨学資金で高校4名分、大学11名分で804万円の計上であります。そのほか、145ページの2節給料から147ページの18節負担金補助及び交付金までは、例年同様の計上であります。

3目教育振興費は1,264万2,000円、前年比367万6,000円の減額の計上で、減額の主な要因につきましては、学習支援員及び特別支援補助員の通勤日数の減であります。この中には、英語指導助手招聘事業、総額504万4,000円も含まれております。148ページの1節報酬から150ページの26節公課費まで、例年同様の計上であります。

続きまして、150ページをお開きください。

4目のスクールバス運行管理費であります。4,975万円、前年比1,376万7,000円の増額の計上であります。次のページ、151ページの17節備品購入費であります。公用車となっておりますが、平成13年に購入して21年が経過しました。現在小利別線を運行していますスクールバスの更新で、25人乗り1台を購入しようとするものであります。議案説明書、資料ナンバー73にスクールバス仕様を掲載した資料をつけておりますので、後ほど御覧いただきたいと思っております。このほか、10節需用費から12節委託料まで例年同様の計上であります。

5目教育研究所費は57万4,000円、前年比10万9,000円の増額の計上で、1節報酬から18節負担金補助及び交付金まで例年同様の計上であります。

152ページをお開きください。

次に、2項小学校費1目学校管理費は2,744万7,000円、前年比661万5,000円の増額の計上であります。次の153ページを御覧いただきまして、12節委託料の最初の施設設備保守管理のうち新たに体育館の壁面バスケットゴールの安全点検で7万7,000円、床下排水設備で39万円を計上しております。次に、一番下の学校施設環境測定等8万5,000円、これも新たなものでありまして、学校環境衛生基準に規定する検査項目により新たに測定を行いたいと考えているものであります。次に、154ページをお開きください。154ページの14節工事請負費、学校改修につきましては、職員室に2台、校長室に1台のエアコンの設置工事658万9,000円の計上であります。議案説明書、資料ナンバー74にエアコンの設置箇所図をつけておりますので、後ほど御覧いただきたいと思っております。その下の17節備品購入費につきましては、配水用の水中ポンプとホース一式で5万4,000円の計上。このほかの152ページの1節報酬から154ページの18節負担金補助及び交付金までは、例年同様の計上であります。

2目教育振興費は1,331万5,000円、前年比52万9,000円の減額の計上で、154ページの10節需用費から次のページの22節償還金利子及び割引料まで、例年同様の計上であります。なお、このうち18節負担金補助及び交付金の給食費補助金につきましては92名分、修学旅行費事業交付金につきましては16名分となっております。

155ページの下段を御覧いただきたいと思っております。

3項中学校費1目学校管理費につきましては3,165万2,000円、前年比1,23

7万円の増額の計上であります。156ページをお開きください。156ページの下段、12節委託料の施設設備保守管理であります。ここは新たなものとしまして吊下げ式の式のバスケットゴールの安全点検、それから3年ごとの報告義務のある特殊建築定期検査などが含まれております。その下の施設周辺整備は、中学校の駐車場からグラウンド側に設置してあります外灯のLED化と受電柱の負荷開閉器、高圧気中開閉器の改修185万9,000円の計上であります。議案説明書、資料ナンバー75に施工箇所図をつけておりますので、後ほど御覧いただきたいと思っております。157ページの上から5番目、学校施設環境測定等8万5,000円の計上につきましては、小学校と同様に、学校環境衛生基準に規定する検査項目により新たに測定しようとするものであります。次の14節工事請負費、学校改修につきましては、こちらも小学校と同様、職員室に2台、校長室に1台、中学校につきましては保健室に1台のエアコンの設置工事682万円の計上であります。議案説明書、資料ナンバー76にエアコンの設置箇所図をつけておりますので、後ほど御覧いただきたいと思っております。続きまして、158ページに移ります。158ページ、17節備品購入費につきましては管理用備品で、こちらは職員玄関用下駄箱3台の更新、それから消火器27本の更新、除雪機1台の購入で166万6,000円の計上であります。この備品の購入に当たりましては、教育振興資金として指定寄附を受けております100万円分を寄附者の希望に沿ってふるさと整備基金から充当いたします。ただいまの説明以外につきましては、155ページの10節需用費から158ページの18節負担金補助及び交付金まで、例年同様の計上です。

2目教育振興費は1,252万7,000円、前年比142万1,000円の減額の計上で、10節需用費から次のページ22節償還金利息及び割引料まで例年同様の計上であります。ここにつきましても、18節負担金補助及び交付金の給食費の補助金につきましては54名分、修学旅行費交付事業交付金につきましては14名分となっております。

159ページの4項社会教育費1目社会教育総務費であります。1,978万7,000円、前年比107万6,000円の減額の計上であります。この目では、学童保育所の開設をはじめとしまして、文化団体等の活動事業、成人記念行事開催事業、文化祭開催事業、中学生等海外研修派遣事業、魅力・体感inりくべつ事業など、様々な事業が行われております。1節報酬から162ページの21節補償補填及び賠償金まで、例年同様の計上となっております。このうち学童保育所につきましては、定員35名全員分の利用を見込んでおります。続きまして、161ページを御覧ください。161ページの中段になります17節備品購入費の管理用備品につきましては、学童保育所用の一輪車2台、ジョイントクッションなど一式で8万6,000円を計上しております。それでは、162ページをお開きください。18節負担金補助及び交付金のうち交付金の下から2番目、中学生等海外派遣事業であります。これまで10万円としていました自己負担金を1万2,000円としまして、19名全員の参加を見込みまして495万9,0

00円の計上であります。それから、一番下の魅力・体感inりくべつ実行委員会につきましては、冒険・体感inとうきょうの代替事業の実施でありまして、ネイパル足寄を利用して6年生全員が対象の宿泊事業を考えております。なお、この場合の自己負担については無料として実施したいと考えております。

2目公民館費につきましては1,242万1,000円、前年比67万1,000円の増額の計上であります。164ページをお開きください。17節の備品購入費の管理用備品についてであります。こちらは図書用の基本図書、視聴覚資料などにつきまして例年同様の購入であります。施設管理用備品としまして、プリンター複合機1台、掃除機1台、デスクマット1枚の更新のために11万3,000円を計上しております。

次に、3目文化財保護費につきましては143万5,000円、前年比183万5,000円の減額の計上であります。前年は、史跡ユクエピラチャシ跡の排水設備の破損箇所の整備を実施しておりましたが、新年度はそれがありませんので減額となっております。この目におきましても、1節報酬から18節負担金補助及び交付金まで例年同様の計上であります。

165ページの5項保健体育費1目保健体育総務費につきましては325万2,000円、前年比7万7,000円の増額の計上であります。この目につきましても、1節報酬から次のページの18節負担金補助及び交付金まで例年同様の計上。

166ページをお開きください。

下のほうの行になりますが、2目体育施設費は2,030万8,000円、前年比59万3,000円の減額の計上であります。この目につきましても、166ページの1節報酬から168ページの15節原材料費まで例年同様の計上であります。それでは、続きまして168ページをお開きください。下段になりますが、17節備品購入費の管理用備品につきましては、登山会の際の滑落などの緊急時に使用しますザイル1本の購入で6万9,000円の計上であります。

3目学校給食費は6,198万4,000円、前年比578万9,000円の増額の計上であります。171ページをお開きください。171ページの12節委託料の給食調理等ではありますが、これまで調理員につきましては全員会計年度任用職員として雇用してきておりますが、調理員の安定確保のため、新年度から調理業務の町内業者への委託により対応したい考えであります。この委託料には、調理員の賃金のほか定期的な検便検査などの検査費用や清潔を保つための調理服購入費用なども含みまして1,878万1,000円の計上であります。13節使用料及び賃借料の下から二つ目の管理用備品借上料は、可動式アイスシェルダーの借上げで、圃場で取れた野菜などの保管に利用して安定的な野菜の確保に努めようとするものでありまして57万5,000円の計上であります。なお、このアイスシェルダーにつきましては、5年継続して借り上げれば所有権が陸別町に移るという可能性を持っております。続きまして、172ページの17節備品購入費の管理用備品につきましては、保育所1歳児対応用の業務用炊飯器1台と14

リットルの食缶2缶の新規購入と、ささがきスライサー1台の更新で44万4,000円の計上であります。このほか、168ページの1節報酬から172ページの26節公課費まで、前年同様の計上であります。

○議長（本田 学君） 昼食のため、午後1時まで休憩します。

休憩 午後 0時01分

再開 午後 1時00分

○議長（本田 学君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

早坂副町長。

○副町長（早坂政志君） 説明に入ります前に、議案資料の訂正がございましたので説明をさせていただきたいと思っております。

お昼休みにお手元に説明書の修正分を配付させていただいておりますが、資料ナンバー36の令和4年度陸別町社会福祉協議会補助金の算定内訳書であります。修正箇所につきましては、支出の部の予算額の令和4年度の法人運営事業の人件費「1,998万9,000円」が「2,006万7,000円」、事務費「273万2,000円」が「265万5,000円」、その他「17万3,000円」が「17万2,000円」、この3か所が訂正となっておりますので、資料の差替えをお願いいたします。

それでは、午前に引き続き説明に入らせていただきます。

172ページです。11款災害復旧費1項農林水産業施設災害復旧費1目農業用施設災害復旧費は10万3,000円、前年同額の予算計上であります。次の2目林業用施設災害復旧費も4万6,000円の計上で前年同額。その次のページ、173ページの2項公共土木施設災害復旧費1目道路橋りょう災害復旧費も9万6,000円で、前年同額の計上であります。いずれの節におきましても、例年同様の計上となっております。

12款1項公債費1目元金と2目利子であります。合わせまして5億9,322万2,000円、前年比441万5,000円の増額の予算計上であります。公債費の償還に当たりましては、新年度は減債基金1億5,000万円を取り崩しておりますが、減債基金につきましては一般財源としての充当となっております。

13款予備費は、例年同様400万円の計上であります。

なお、175ページ以降に給与費明細書のほか、予算に関する各種調書等がつけてありますので、後ほど御覧いただきたいと思っております。

以上で歳出を終わります。次に歳入の説明に移ります。12ページをお開きください。

12ページの2、歳入であります。

1款町税1項町民税1目個人につきましては1億1,196万4,000円、前年比501万4,000円の増額の予算計上で、昨年は新型コロナウイルスの影響による営業等所得、農業所得等の減を見込みましたが、実際には前年並みとなる見込みとなりましたことから、令和4年度は例年並みに計上しております。

2目法人は1,210万8,000円、前年比88万円の減額の計上で、例年同様。

2項1目固定資産税も1億6,969万8,000円、前年比96万7,000円の増額の計上で、前年同様であります。

2目国有資産等所在市町村交付金は704万1,000円、前年比9,000円の減額。

3項軽自動車税1目環境性能割は21万8,000円、前年比3万9,000円の増額。

2目種別割は679万6,000円、前年比12万6,000円の増額の計上で、1,221台を見込んでおります。

3目軽自動車税は2,000円、前年比3,000円の減額の予算で、滞納繰越分のみの計上であります。

13ページに移りまして、4項1目町たばこ税は1,974万7,000円、前年比37万2,000円の増額の予算で、前年より6万1,000本の減の見込みであります。

2款地方譲与税1項1目自動車重量譲与税は5,532万5,000円、前年比174万8,000円の増額。

2項1目地方揮発油譲与税は1,834万6,000円、前年比39万円の増額。

3項1目地方道路譲与税は、科目存置。

4項1目森林環境譲与税は3,396万2,000円、前年比718万7,000円の増額の予算計上であります。

14ページに移ります。

3款1項1目利子割交付金は24万6,000円、前年比2万8,000円の増額。

4款1項1目配当割交付金は65万2,000円、前年比4万6,000円の減額。

5款1項1目株式等譲渡所得割交付金は78万1,000円、前年比31万9,000円の増額。

6款1項1目地方消費税交付金は6,214万2,000円、前年比789万1,000円の増額の予算計上で、地方消費税交付金が2,904万円、社会保障財源交付金が3,310万2,000円であります。

7款1項1目環境性能割交付金は557万4,000円、前年比26万8,000円の増額。

続きまして、8款1項1目法人事業税交付金は278万5,000円、前年比248万5,000円の増額。

9款1項1目地方特例交付金は246万5,000円、前年比41万円の減額。

2項1目新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金は、1,000円の科目存置であります。

10款1項1目地方交付税は21億6,741万9,000円、前年比9,989万7,000円の増額の予算で、普通地方交付税が19億6,741万9,000円、特別地方

交付税 2 億円を計上しております。議案説明書、資料ナンバー 2 1 に地方交付税の状況をつけております。後ほど御覧いただきたいと思っております。

1 1 款 1 項 1 目交通安全対策特別交付金は、科目存置であります。

1 6 ページをお開きください。

1 2 款分担金及び負担金 1 項分担金 1 目農林水産業費分担金は 1, 7 6 6 万円、前年比 9 4 3 万 5, 0 0 0 円の増額の予算計上で、草地畜産基盤整備事業分担金は、道営事業の受益者分担金であります。

2 項負担金 1 目民生費負担金 9 5 万 5, 0 0 0 円、前年比 5 0 万 5, 0 0 0 円の増額の計上で、老人福祉施設入所者措置費等徴収金は、町外の養護老人ホームの入居者 2 名分であります。

1 3 款使用料及び手数料は、実績に基づきまして予算計上しております。1 項使用料 1 目総務使用料は 4, 0 8 9 万 9, 0 0 0 円、前年比 1 4 2 万 6, 0 0 0 円の増額の計上であります。1 節行政財産使用料から次のページの 5 節の銀河の森宇宙地球科学館等使用料まで例年同様の計上ですが、ふるさと交流センターと天文台、コテージにつきましても、若干の利用増を見込んでおります。

1 7 ページに移りまして、2 目民生使用料は 6 0 5 万 9, 0 0 0 円、前年比 1 2 万 7, 0 0 0 円の増額の計上であります。1 節老人福祉使用料は、福寿荘の使用料で入居者 8 名分とショートステイ 1 名分。2 節児童福祉使用料は、保育所の広域保育入所料で 3 名分。3 節福祉住宅使用料は、からまつハウスの入居者 6 名分であります。

3 目衛生費使用料は 6 6 6 万 2, 0 0 0 円、前年比 2 6 万 1, 0 0 0 円の増額の計上であります。1 節保健衛生使用料は、公衆浴場の使用料 8, 6 3 9 人分、墓地使用料 1 件分。2 節水道使用料は、小利別地区専用水道料 4 0 件分であります。

1 8 ページに移ります。

4 目農林水産使用料は 5 2 1 万 5, 0 0 0 円、前年比 1 0 万円の増額の計上で、1 節農林水産使用料は、農畜産物加工研修センターの使用料。2 節営農用水使用料は、上陸別地区 4 0 件分、トラリ地区 2 2 件分であります。

5 目商工使用料は 1 万 7, 0 0 0 円、前年比 5, 0 0 0 円の減額の計上で、イベント広場の使用料。

6 目土木使用料は 6, 4 9 1 万 5, 0 0 0 円、前年比 8 万 8, 0 0 0 円の減額の計上で、1 節道路橋りょう使用料は、道路占用料。2 節河川使用料は河川占用料。3 節住宅使用料は、公営住宅 1 1 1 戸、改良住宅 2 3 戸、特定公共賃貸住宅 4 9 戸分の使用料の計上であります。4 節集会所使用料は、科目存置となっております。

7 目教育使用料は 2 0 9 万 6, 0 0 0 円、前年比 4 万 3, 0 0 0 円の増額の計上で、1 節社会教育使用料は、公民館及び公民館の陶芸室の使用料。2 節資料館使用料は、関資料館の入場料。3 節学童保育所使用料は 3 5 名分であります。

1 9 ページに移りまして、2 項手数料も、実績に基づきまして各項目ごとに計上して

おります。内容は、説明欄のとおりであります。

1目総務手数料は160万4,000円、前年比1万9,000円の増額。

2目衛生手数料は731万7,000円、前年比227万9,000円の減額の計上で、1節衛生手数料が730万5,000円。2節水道手数料は1万2,000円であります。

20ページをお開きください。

続きまして、3目の農林水産手数料につきましては、1節営農用水手数料で1万2,000円で、前年同額の計上であります。

続きまして、14款国庫支出金1項国庫負担金1目民生費負担金は1億3,811万4,000円、前年比20万1,000円の増額の予算計上であります。1節社会福祉費負担金の国民健康保険事業保険基盤安定負担金は、国保軽減措置に対する保険者支援分で639万4,000円の2分の1、未就学児均等割保険料負担金も国保軽減措置に対する保険者支援分で25万2,000円の2分の1、障害者介護給付費負担金から低所得者保険料軽減負担金までにつきましても2分の1の国の負担分であります。2節児童福祉費負担金の児童手当負担金は、ルール計算によります国の負担分となっております。障害者介護給付費負担金から次のページの障害児相談支援費負担金まで、2分の1の国の負担分であります。21ページに移りまして、子どものための教育・保育給付費負担金は、幼稚園相当の1割認定と3歳児以上の2号認定がそれぞれの基準額の50%、3歳未満の3号認定が57.72%で2,512万9,000円の計上となっております。

2目衛生費負担金は583万7,000円、前年比128万1,000円の減額の計上で、1節保健衛生費負担金の養育医療負担金は、基準額の2分の1の国庫負担、新型コロナウイルスワクチン接種対策費国庫負担金は、10割が国庫負担であります。

2項国庫補助金1目総務費補助金は6,590万1,000円、前年比890万8,000円の増額の計上で、1節総務管理費補助金の社会保障・税番号制度導入整備補助金につきましては、戸籍システム改修費等に対する10割の国庫補助。地方創生推進交付金事業は、連携事業として負担金を支出いたします十勝と東京たいとう・すみだ連携交流事業と交流ネットワークを活用した地域活性化交流推進事業負担金に対する2分の1の補助。新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金につきましては、国の令和3年度補正予算の配分額となっております。デジタル基盤改革支援補助金につきましては、自治体情報システムの標準化共通化事業が10割の国庫補助で77万6,000円。自治体オンライン手続推進事業が2分の1の国庫補助で301万4,000円となっております。

2目民生費補助金は731万7,000円、前年比8万2,000円の増額の計上で、1節社会福祉費補助金は、地域生活支援事業の2分の1の補助。生活困窮者就労準備支援事業費等補助金は、生活困窮者自立相談支援分が4分の3と成年後見制度利用促進体制整備分が2分の1の補助。2節児童福祉費補助金は子ども・子育て支援交付金で3分

の1の補助であります。

22ページに移ります。

3目衛生費補助金は863万1,000円、前年比2,943万6,000円の減額の計上で、1節保健衛生費補助金の母子保健衛生費国庫補助金は、妊娠出産包括支援産婦健康診査事業に対する2分の1の補助、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費国庫補助金は全額国の負担、風疹抗体検査事業補助金は検査分の2分の1が補助。2節水道費補助金は、小学校専用水道の施設機器更新事業に係る55%の補助となっております。

4目農林水産業費補助金は、トラリ地区の営農用水台帳整備に係る50%の補助で1105万5,000円で皆増となっております。

5目土木費補助金は8,557万4,000円、前年比1,093万1,000円の減額の計上で、1節道路橋りょう費補助金は、橋りょう長寿命化修繕事業で下陸別橋の補修工事や橋梁点検などに係る65.45%の補助。2節住宅費補助金は、新町団地特定公共賃貸住宅建設屋根塗装、解体工事等の社会資本整備総合交付金で45%から50%の補助。

6目教育費補助金は1,266万1,000円、前年比1,256万円の増額の計上で、1節教育総務費補助金は教員住宅建設補助。2節小学校費補助金と3節中学校補助金は、特殊教育就学奨励費補助金で2分の1の補助であります。

3項委託金1目総務費委託金は442万7,000円、前年比173万5,000円の減額の計上で、1節総務管理費委託金は、権限移譲などによる国からの委託金で、例年同様の計上であります。23ページに移りまして、2節選挙費委託金は、参議院議員選挙委託金で、新年度で実施されます国政選挙執行に係る委託金。

2目民生費委託金は5,000円の計上で前年同額。児童扶養手当特別児童扶養手当の事務委託金3名分であります。

次に、15款道支出金1項道負担金1目民生費負担金であります。8,366万1,000円、前年比73万4,000円の増額の計上で、1節社会福祉費負担金の民生委員活動等負担金は定額となっております。国民健康保険事業保険基盤安定負担金と未就学児均等割保険料負担金につきましては、国庫軽減措置に対する保険者支援分で4分の1。後期高齢者医療保険基盤安定負担金は4分の3。障害者介護給付費負担金から次のページにあります低所得者保険料軽減負担金までは、4分の1の道の負担分であります。続きまして、24ページに移ります。2節児童福祉費負担金の児童手当負担金は、ルール計算により道の負担分。障害者介護給付費負担金から障害児相談支援費負担金は4分の1の道の負担分。子どものための教育・保育給付費負担金は、幼稚園相当の1号認定が基準額の25%、地方負担分50%分。3歳以上の2号給付も基準額の25%、3歳未満の3号認定が21.14%で1,187万1,000円の計上となっております。

2目衛生費負担金は、1節保健衛生費負担金の療育医療費負担金1万3,000円で、

前年同額。

2項道補助金1目総務費補助金も99万5,000円で、前年同額。1節総務管理費補助金の地域づくり総合交付金は防災備蓄品整備に係ります2分の1の補助、無線システム普及支援事業補助金につきましては移動通信等铁塔施設整備事業費の起債償還に対する補助金でありまして14万5,000円、地方創生推進交付金事業につきましてはUIJターン新規就業支援1世帯分で4分の1の補助。

2目民生費補助金は1,154万7,000円、前年比17万2,000円の減額の計上で、1節社会福祉費補助金の重度心身障害者医療費補助金から次のページの乳幼児医療費補助金までが2分の1の補助金であります。地域生活支援事業費補助金につきましては4分の1の補助、老人クラブ運営事業費補助金は基準額の3分の2の補助、権利擁護人材育成事業補助金は10割補助、冬期生活支援事業補助金は100万円を上限とする2分の1の補助となっております。2節児童福祉費補助金は、子ども・子育て支援交付金で、国庫補助と同額の計上であります。保育料軽減支援事業費補助金は、多子世帯の保育料軽減措置分で67万4,000円の計上となっております。

3目衛生費補助金は25万2,000円、前年比15万9,000円の減額の計上でありまして、健康増進事業費補助金が5万7,000円、妊産婦安心出産支援事業費補助金は2分の1の補助。

4目農林水産業費補助金は8,616万円で、前年比1,547万8,000円の減額の計上。1節の農業費補助金は4,819万6,000円で例年同様の計上ではありますが、中山間地域直接支払事業補助金は、前年より1,286万7,000円の減となっております。続きまして、26ページに移ります。農業次世代人材投資事業補助金は、新規就農総合支援事業費補助金から次世代農業促進生産基盤整備特別対策事業、農業競争力基盤強化特別対策事業費から名称が変更となっております。2節の林業費補助金につきましても例年同様の計上ではありますが、二つ目にあります豊かな森づくり推進事業補助金につきましては、未来につなぐ森づくり推進事業補助金からの名称変更となっております。一つ飛んで、小規模治山事業補助金は前年より500万円の減、一つ飛びまして、農産漁村地域整備交付金は林道に架かります6路線6橋の橋梁の点検の51%分の補助。

5目教育費補助金は25万4,000円、前年比2万7,000円の増額の計上で、地域学校協働活動事業への補助。

商工費補助金につきましては、廃目であります。

次のページに移りまして、3項委託金1目総務費委託金から次のページの5目土木費委託金まで、合わせまして782万8,000円、前年比178万6,000円の増額の予算計上で、これは権限移譲などによります委託金であります。ほとんど例年同様の計上ではありますが、1目総務費委託金の来年度執行されます知事道議会議員選挙委託金166万6,000円が新たに加わっております。

28ページをお開きください。

28ページ、16款財産収入1項財産運用収入1目財産貸付収入は4,357万2,000円、前年比41万4,000円の増額の予算計上であります。1節土地建物貸付収入は例年同様の計上。次のページの2節通信設備貸付収入は、光ファイバー網の貸付収入で580件分であります。

2目利子及び配当金は87万9,000円、前年比82万4,000円の減額の計上。

30ページに移りまして、2項財産売却収入1目不動産売却収入は、1節土地売却収入、2節建物売却収入、共に科目存置であります。

2目物品売却収入は1,131万円、前年比431万7,000円の増額の計上で、町有林素材売却収入639万6,000円と町有林立木売却収入491万4,000円であります。

17款1項寄附金1目一般寄附金、2目指定寄附金は、共に科目存置。

18款繰入金1項特別会計繰入金1目介護保険事業勘定特別会計繰入金は35万3,000円、前年比3万1,000円の増額の予算計上で、保険者機能強化推進交付金分であります。

次の31ページの2項基金繰入金1目財政調整基金繰入金は2億円で、前年同額。

2目減債基金繰入金1億5,000万円も、前年同額。

以下、特定目的基金につきましては、3目ふるさと整備基金繰入金5,390万円、前年比3,440万円の増。4目いきいき産業支援基金繰入金7,690万円、前年比3,070万円の減。32ページに移りまして、5目ふるさと銀河線跡地活用等振興基金繰入金670万円、前年比1,330万円の減。6目町有林整備基金繰入金1,000万円は前年同額。7目地域福祉基金繰入金4,830万円、前年比2,190万円の増。8目公共施設等維持管理基金繰入金1億1,590万円、前年比3,230万円の増。33ページに移りまして、9目学校給食センター管理運営基金繰入金2,810万円、前年比330万円の増。10目スポーツ振興基金繰入金50万円、前年同額。11目森林環境譲与税事業基金繰入金4,965万6,000円、前年比1,914万4,000円の増。合わせまして7億3,995万6,000円を取り崩し、説明欄に記載のと通りの事業に充当したいと考えております。

なお、令和2年度末から令和4年度末現在の見込額を記入しました基金別積立金の状況につきましては、議案資料ナンバー3につけてありますので、後ほど御覧いただきたいと思っております。

次に、19款1項1目繰越金は1,000万円で、前年同額の予算計上であります。

20款諸収入1項延滞金加算金及び過料1目延滞金も5万円で前年同額。

2目加算金は、科目存置。

2項1目町預金利子は6,000円、前年比2,000円の減額の計上であります。

次、34ページに移ります。

3項貸付金元利収入1目家畜導入貸付金収入は3,068万6,000円、前年比200万5,000円の増額の計上で、約定償還分であります。

2目貸付金元利収入は1億4,000円で、前年同額の計上。

3目奨学資金貸付金収入は64万2,000円、前年比4万円の増額の計上で、8名分であります。

4項雑入1目滞納処分費は、科目存置。

2目弁償金は3万3,000円、前年比6,000円の減額の計上で、記載のとおりであります。

3目雑入は4,633万9,000円、前年比518万4,000円の減額の計上で、ほとんどが例年同様の内容となっております。1節介護予防支援報酬は、介護予防サービス計画作成に係る報酬で169件分。2節居宅介護支援報酬は、居宅介護サービス計画作成に係る報酬で415件分。35ページに移りまして、3節高齢者福祉施設負担金は、福寿荘の入居者、ショートステイの利用者の食事代などの実費負担分。4節学校給食費等は、小学生92名、中学生54名、保育所52名、教職員等53名分であります。5節電話使用料、6節電気等使用料は記載のとおりであります。36ページをお開きください。7節の雑入につきましては2,224万1,000円、前年比421万7,000円減額の計上で、主な減額の内容につきましては、説明欄に記載はありませんが、派遣職員分の共済組合福祉協会負担金176万7,000円、長寿社会づくりソフト事業費交付金298万4,000円、移住産業研修センター賄い負担金192万円などが昨年計上されて今年計上のないもので、減額の内容となっております。

次、38ページに移ります。

38ページの上段、過年度収入については、廃目であります。

続きまして、21款1項町債は4億8,047万7,000円で、前年比2億9,162万3,000円の減額の予算計上であります。借入予定事業につきましては、説明欄を御覧いただきたいと思っております。

1目総務債は6,070万円で、前年比5,910万円の減。

2目衛生債は290万円で、前年比1,910万円の減。

3目農林水産業債は1億7,370万円で、前年比9,800万円の減。

39ページ、4目土木債につきましては1億5,950万円で、前年比4,910万円の減。

5目消防債は1,400万円で、皆増。

6目教育債は4,140万円で、前年比850万円の増。

7目臨時財政対策債は2,827万7,000円で、前年比8,882万3,000円の減であります。

なお、38ページの1目1節総務債の過疎地域自立促進特別対策事業6,070万円分につきましては、議案説明書、資料ナンバー22に事業の一覧表をつけておりますの

で、後ほど御覧いただきたいと思ひます。

以上で歳入を終わひまして、次に、7ページをお開きください。

7ページは、第2表債務負担行為であります。

左から事項、期間、限度額の記載でありまして、北海道市町村備荒資金組合防災資機材の譲渡代金で、期間は令和5年度から令和8年度まで402万円。令和4年度大家畜特別支援資金利子補給は、令和5年度から令和29年度まで373万6,000円。令和4年度陸別町農業近代化資金利子補給は、令和5年度から令和13年度まで113万3,000円。令和4年度陸別町中小企業経営安定資金利子補給は、令和5年から令和14年度まで215万円。陸別町給食センターアイスシェルダー借上料は、令和5年度から令和8年度まで229万7,000円であります。

続きまして、第3表地方債であります。

まず、起債の目的と限度額であります。公営住宅建設事業は6,080万円で、事業の内訳は新町団地公営住宅建設事業。一般単独事業（緊急自然災害防止対策事業）は3,470万円で、事業の内訳は陸別地区小規模治山事業外12事業で、記載のとおりであります。8ページを御覧ください。過疎対策事業につきましては3億5,670万円で、事業の内訳は過疎地域自立促進特別事業外17事業で、記載のとおりであります。臨時財政対策債は2,827万7,000円で、起債の合計額につきましては4億8,047万7,000円となります。

起債の方法は普通貸借又は証券発行、利率は4%以内（ただし、利率の見直しを行った後においては当該見直し後の利率）、償還の方法は借入先の融通条件による。ただし、町財政の都合により据置期間の短縮もしくは繰上償還をすることができるであります。

以上で議案第22号の説明を終わひまして、次に、議案第23号の説明に移ります。

議案第23号令和4度陸別町の国民健康保険事業勘定特別会計予算は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算。

第1条第2項、歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第1表歳入歳出予算」による。

歳出予算の流用。

第2条、地方自治法第220条第2項ただし書の規定により歳出予算の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

第1号、保険給付費の各項に計上された予算額に過不足を生じた場合における同一款内でのこれらの経費の各項の間の流用。

一時借入金。

第3条、地方自治法第235条の3第2項の規定による一時借入金の最高額は5,000万円と定めるであります。

初めに、議案説明書、資料ナンバー 79 をお開きください。

この資料につきましては、歳入歳出予算の財源充当の内訳書となっております。歳入歳出の総額 4 億 4,428 万 4,000 円がこの表により振り分けられております。上段が歳出の表、その下が歳入の表、下段が歳入内訳となっております。また、資料ナンバー 78 に予算の前年度比較表もつけております。併せて、後ほど御覧いただきたいと思っております。

それでは、これより事項別明細書により説明をいたします。

歳出から説明したいと思っておりますので、予算書の 10 ページをお開きください。

10 ページは、3、歳出であります。

1 款総務費 1 項総務管理費 1 目一般管理費は 563 万 8,000 円、前年比 21 万円の増額の予算計上であります。この目は、8 節旅費から 24 節積立金まで、例年同様の計上であります。

2 目連合会負担金も 46 万円、前年比 1,000 円の減額で、前年同様の計上であります。

続きまして、11 ページの 2 項徴税費 1 目賦課徴収費も 31 万 6,000 円、前年比 8 万 7,000 円の減額の予算で、10 節需用費から 18 節負担金補助及び交付金まで例年同様の計上。なお、18 節負担金補助及び交付金の十勝圏複合事務組合につきましては、税滞納整理機構への負担金で、今年の依頼は 1 名分であります。

3 項 1 目運営協議会費は 21 万 1,000 円で前年同額であります。

12 ページをお開きください。

2 款保険給付費 1 項療養諸費 1 目療養給付費は 2 億 2,300 万円、前年比 300 万円の増額の予算計上で、前年度の実績見込額を勘案しての増額であります。

2 目療養費は 600 万円で前年同額。

3 目審査支払手数料も 70 万円で前年同額。

2 項 1 目高額療養費は 3,400 万円で、前年比 200 万円の増額の予算計上で、療養給付費同様、前年度の実績見込額を勘案しまして増額であります。

2 目高額介護合算療養費は 10 万円で、前年同額。

13 ページの 3 項出産育児諸費 1 目出産育児一時金も 126 万円で、前年同額。これは 3 件分の計上であります。

4 項葬祭諸費 1 目葬祭費も 30 万円で前年同額、3 万円の 10 件分の計上であります。

続きまして、3 款国民健康保険事業費納付金であります。1 項 1 目医療給付費分は 7,441 万 1,000 円、前年比 223 万 9,000 円の増額の予算計上。続きまして 14 ページをお開きください。2 項 1 目後期高齢者支援金等分は 2,126 万 1,000 円、前年比 31 万 5,000 円の減額の計上。3 項 1 目介護納付分につきましては 704 万 1,000 円、前年比 86 万円の減額の予算計上で、ここまでは、いずれも 18 節負担金

補助及び交付金、国保事業費納付金であります。

4款1項1目共同事業拠出金は、科目存置。

5款1項1目財政安定化基金拠出金も、災害等の補填分の町負担分で、科目存置であります。

15ページの6款保健事業費1項1目特定健康診査等事業費436万5,000円、前年比42万1,000円の増額の予算計上で、例年同様の内容であります。なお、12節委託料の共同電算処理9万4,000円は健診データ管理で、受診者350人、保健指導30人分となっております。次の健康診査等の399万6,000円につきましては、特定健康診査320人分、特定健康診査に係るCSVデータ料230人分、陸別診療所受診者に係る健診項目の提供データ作成で40件分、商工会健診受診者に係る健診項目の提供データ作成で1回分、2次健康診査頸動脈エコー検査が40件分、歯科健診50人分となっております。

2項1目保健事業費は1,171万2,000円、前年度比411万7,000円の増額の予算計上であります。16ページをお開きください。12節の委託料であります。各種予防接種が60歳以上75歳未満の方のインフルエンザ予防接種200人分の70万円、それから高齢者肺炎球菌ワクチン接種10人分の4万円で、74万円です。ヘルスアップ事業関連業務は、新規事業であります。保険者努力支援制度で、予防・健康づくりの各種事業に取り組むことで道の交付金を受けることができるというものであります。特定健診受診率向上、重症化予防、適正服薬、生活習慣病予防、地域包括ケアなどの事業となっております。健康診査等は40歳未満の健康診査30人分、会場等設営は社会福祉協議会が行いますふれあい広場のステージ設置費であります。19節扶助費はインフルエンザ予防接種の償還金で10名分、高齢者肺炎球菌ワクチン接種の償還金で2名分。なお、15ページの7節報償費から16ページ11節役務費までは、例年同様の計上であります。

7款諸支出金1項償還金及び還付加算金1目償還金は80万円、前年比50万円の増額の予算計上で、前年実績により増額での予算措置であります。

2項繰出金1目直営診療施設勘定繰出金は4,970万7,000円、前年比397万8,000円の減額の計上で、へき地診療所運営分の特別調整交付金の国民健康保険直営診療施設勘定特別会計への繰出金であります。

8款1項1目予備費は300万円で、前年同額の計上であります。

以上で歳出を終わりました。次に、歳入の説明に移ります。7ページをお開きください。

7ページ、2、歳入であります。

1款1項1目国民健康保険税であります。これは北海道において積算されております。今年度は6,864万6,000円、前年比74万7,000円の減額の予算計上であります。1節現年度分が6,852万3,000円、2節滞納分が12万3,000円であ

ります。

2款国庫支出金1項国庫補助金1目災害臨時特例補助金は、科目存置。

3款道支出金1項道負担金1目保険給付費等負担金は3億4,040万5,000円、前年比578万3,000円の増額の予算計上であります。1節保険給付費等交付金の普通交付金は、保険給付分2億6,536万円の計上。2節保険給付費等交付金の特別交付金は7,504万5,000円の計上で、保険者努力支援分182万5,000円、特別調整交付金5,149万円、道繰入分2,065万4,000円、次に8ページを御覧いただきまして、特定健診等負担金107万6,000円の内訳となっております。なお、特別調整交付金のうち4,970万7,000円は、へき地診療所の運営分であります。

4款財産収入1項財産運用収入1目利子及び配当金は、国民健康保険基金利子1,000円の計上。

5款繰入金1項他会計繰入金1目一般会計繰入金は2,953万2,000円、前年比169万7,000円の増額の予算計上であります。1節保険基盤安定繰入金は、保険税軽減分1,084万3,000円、保険者支援分639万5,000円。2節未就学児均等割保険料繰入金25万2,000円。3節事務費繰入金は669万8,000円。4節出産育児一時金等繰入金は84万円。5節財政安定化支援事業繰入金は302万8,000円。6節その他一般会計繰入金は147万6,000円で、これは医療費分と高齢者支援分の減免分であります。

9ページに移りまして、2項基金繰入金1目国民健康保険基金繰入金は、国民健康保険事業への充当分564万7,000円、前年比51万3,000円の増額の予算計上であります。

6款1項1目繰越金は、前年度繰越金で、科目存置。

7款諸収入1項延滞金加算金及び過料1目延滞金は、国保税の延滞金で科目存置。

2項1目雑入は、健康診査等個人負担金で5万円の計上であります。

以上で議案第23号の説明を終わりました、次に、議案第24号の説明に移ります。

議案第24号令和4年度陸別町の国民健康保険直営診療施設勘定特別会計予算は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算。

第1条第2項、歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第1表歳入歳出予算」による。

地方債。

第2条、地方自治法第230条第1項の規定により起こすことができる地方債の起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、「第2表地方債」による。

一時借入金。

第3条、地方自治法第235条の3第2項の規定による一時借入金の借入れの最高額は5,000万円と定めるであります。

この会計の歳入歳出予算資料は、議案説明書、資料ナンバー80につけてありますので、後ほど御覧いただきたいと思ひます。

それでは、事項別明細書の歳出から説明したいと思ひますので、予算書の11ページをお開きください。

11ページ、3、歳出であります。

1款総務費1項施設管理費1目一般管理費は3億230万円、前年比651万円の増額の予算計上であります。14ページまでお進みいただきたいと思ひます。14ページの12節委託料のうち、下から二つ目の看護業務であります、昨年の補正予算で計上しまして、以降、看護師2名分の看護業務を委託により行ってきておりますが、昨年1年間も看護師の応募がなく、不足している状況でありますので、新年度におきましても引き続き2名分の委託料を計上するものであります。15ページのほうを御覧ください。14節工事請負費の診療所改修につきましても、昨年から実施しております屋上の防水改修工事456万2,000円の計上であります。議案説明書、資料ナンバー41に保健センターのときに説明しました保健センター・診療所屋上防水改修工事箇所図がつけてありますので、後ほど御覧いただきたいと思ひます。その次の17節備品購入費、管理用備品につきましても、診療所内の消火器2本の更新であります。この目におきましても、そのほかの11ページの1節報酬から16ページの18節負担金補助及び交付金まで、例年同様の計上となっております。

16ページをお開きください。

2項1目研究研修費は141万2,000円、前年比5万8,000円の減額の予算計上で、内容につきましても例年同様であります。

2款医業費1項医業費1目医療用機械器具費は1,626万円、前年比995万円の増額の予算計上であります。10節需用費は前年同額。17節備品購入費の医療用備品についてであります、これは議案説明書、資料ナンバー81に備品購入一覧をつけております。御覧いただきたいと思ひます。

資料ナンバー81の上から順に説明をいたしますと、超音波画像診断装置、いわゆるエコーの器械であります、平成26年に購入しまして7年が経過しております。その次のi-STAYアナライザーは血糖値測定器で、平成23年に購入して10年が経過しております。その下、薬用冷蔵ショーケースは平成29年購入で6年が経過、コンパクト視力計は平成5年に購入しまして23年が経過、いずれも対応年数は超えており、不具合も生じてきているため、優先して更新しようとするものであります。なお、超音波画像診断装置につきましても1,452万円で、財源としまして、道補助金720万円と過疎債730万円を予定しております。

それでは、予算書の16ページにお戻りください。

2目医療用消耗器材費は899万8,000円、前年度比209万1,000円の減額の予算計上で、10節需用費から次のページの12節委託料まで例年同様の計上であり

ます。

17ページの3目医薬品費は1,050万8,000円、前年比440万3,000円の減額の予算計上で、この内訳につきましては、医薬品は診療収入の9.5%分として計上しておりまして705万7,000円、予防接種ワクチンが345万1,000円であります。

4目検査費は、診療収入の3%分、222万9,000円、前年比99万2,000円の減額。

5目寝具費は71万円、前年比43万8,000円の増額で、コロナ対策により寝具の交換回数を増やしておりますので増額となっております。

2項1目給食費は207万5,000円、前年比192万2,000円の減額の予算計上で、10節需用費は例年同様の計上。17節備品購入費につきましては、電気ポット1台、ホットプレート1台の更新で4万円の計上であります。議案説明書、資料ナンバー81の先ほどの備品購入の一覧に厨房機器の備品についても掲載しております。後ほど御覧いただきたいと思っております。

18ページをお開きください。

3款1項公債費1目元金と2目利子につきましては、合わせまして393万円で、前年同額の予算計上。元金の償還が383万7,000円、利子の償還が1万円、一時借入金の利子は8万3,000円あります。

26ページに、地方債の現在高見込み調書があります。後ほど御覧いただきたいと思っております。

4款1項1目予備費につきましては、前年同額の50万円の計上であります。

この後、19ページから25ページにかけては、給与費明細書をつけておりますので、後ほど御覧いただきたいと思っております。

以上で歳出を終わります。次に、歳入の説明をいたします。7ページをお開きください。

7ページ、2、歳入であります。

1款診療収入につきましては、患者数の増減は見込めませんが、診療報酬額の令和3年度の実績見込額の推計から、1項入院収入は合計で1,091万4,000円、前年比484万5,000円の減額の予算計上。

2項外来収入につきましては、次のページの8ページの計の欄を御覧いただきたいと思いますが、合計で6,336万8,000円、前年比882万9,000円の減額の予算計上であります。

3項その他診療収入1目諸検査等収入は2,368万8,000円、前年比431万円の増額の計上で、1節諸検査等収入の内訳は、事業所健康診査等1,003万6,000円、血液検査等9万6,000円、予防接種等1,355万6,000円を見込んでおります。

2 款使用料及び手数料 1 項手数料 1 目文書料は 7 4 万 4, 0 0 0 円、前年比 1 1 万 5, 0 0 0 円の増額の予算計上で、内訳は記載のとおりであります。

9 ページに移りまして、3 款道支出金 1 項道補助金 1 目総務費補助金 7 2 0 万円は、超音波画像診断装置の購入補助。

4 款財産収入 1 項財産運用収入 1 目財産貸付収入 4 7 万 2, 0 0 0 円は職員住宅 3 戸分で、前年同額。

5 款繰入金 1 項他会計繰入金 1 目一般会計繰入金は 1 億 8, 0 2 8 万円、前年比 6 2 3 万 6, 0 0 0 円の増額の計上であります。内訳につきましては、財政対策分が 1 億 7, 0 2 2 万 1, 0 0 0 円、起債償還分が 3 8 4 万 7, 0 0 0 円、施設等整備費分は屋上防水改修工事分で 4 5 6 万 2, 0 0 0 円、医療機器等整備分は道補助、起債を除きました備品の購入費分で 1 6 5 万円であります。

2 目国保事業勘定特別会計繰入金は 4, 9 7 0 万 7, 0 0 0 円、前年比 3 9 7 万 8, 0 0 0 円の減額の予算計上で、国民健康保険事業の特別調整交付金、へき地診療所運営費分であります。

1 0 ページをお開きください。

6 款 1 項 1 目繰越金は前年度繰越金で、前年同額の 1 0 0 万円の計上。

7 款諸収入 1 項 1 目雑入は 4 2 4 万 9, 0 0 0 円、前年比 4 万 2, 0 0 0 円の減額の予算計上で、1 節私用電話料、2 節雑入とも例年同様の計上であります。

8 款 1 項町債 1 目医療債 7 3 0 万円は医療機器等整備事業で、超音波画像診断装置の購入であります。

以上で歳入を終わりました、次に予算書 4 ページをお開きください。

予算書 4 ページは、第 2 表地方債であります。

起債の目的と限度額につきましては、過疎対策事業で医療機器購入事業 7 3 0 万円。起債の方法、利率、償還の方法につきましては、記載のとおりであります。

以上で議案第 2 4 号の説明を終わりました、次に、議案第 2 5 号の説明に移ります。

○議長（本田 学君） 2 時 1 5 分まで休憩します。

休憩 午後 1 時 5 9 分

再開 午後 2 時 1 3 分

○議長（本田 学君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

早坂副町長。

○副町長（早坂政志君） それでは、議案第 2 5 号に移りたいと思います。

議案第 2 5 号令和 4 年度陸別町の簡易水道事業特別会計予算は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算。

第 1 条第 2 項、歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第 1 表歳入歳出予算」による。

地方債。

第2条、地方自治法第230条第1項の規定により起こすことができる地方債の起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、「第2表地方債」による。

一時借入金。

第3条、地方自治法第235条の3第2項の規定による一時借入金の借入れの最高額は5,000万円と定めるであります。

それでは、これより事項別明細書の歳出から説明をいたします。予算書9ページをお開きください。

3、歳出であります。

1款総務費1項総務管理費1目一般管理費は2,799万2,000円、前年比1,400万1,000円の増額の予算計上であります。10ページをお開きください。12節の委託料の水道台帳整備の323万9,000円のうち地方公営企業法適用化事業の水道施設台帳データ構築業務で259万6,000円を計上しております。また、18節負担金補助及び交付金のうち970万2,000円が北海道自治体情報システム協議会への地方公営企業法適用化事業負担金162万2,000円で、インボイス制度導入に伴う上下水道システムの改修負担金であります。このほか、9ページの1節報酬から10ページの26節公課費まで、例年同様の計上であります。

次のページに移りまして、2款施設費1項施設管理費1目施設維持費は5,191万5,000円、前年比41万円の減額の予算計上であります。12ページのほうをお開きください。12節の委託料、下から二つ目の施設設備保守管理には、陸別浄水場のフロキュレータ減速機2台と、次亜塩素素注入ポンプ2台の機械設備分解整備費720万6,000円が含まれております。14節工事請負費の水道管支障移転888万8,000円は、道営事業のトマム地区農道整備に伴う220メートルの配水管支障移転工事で、議案説明書、資料ナンバー82に工事箇所図をつけておりますので、後ほど御覧いただきたいと思っております。次の施設改修工事につきましては、昨年の風害によりまして被害のありました陸別浄水場の屋根の修繕でありまして、239万8,000円の計上であります。こちらにも議案説明書、資料ナンバー83に工事箇所図をつけておりますので、後ほど御覧いただきたいと思っております。この目では、そのほか、11ページの8節旅費から12ページの26節公課費まで、例年同様の計上であります。

13ページに移りまして、2目施設新設改良費は廃目。

3款1項公債費1目元金と2目利子は、合わせて1億2,359万9,000円、前年比41万5,000円の増額の予算計上であります。元金の償還が1億1,385万4,000円、利子の償還が972万円、一時借入金の利子は2万5,000円であります。

21ページには、地方債の現在高見込み調書がありますので、後ほど御覧いただきたいと思っております。

4款1項1目予備費は、前年同様の200万円の計上であります。

15ページから20ページにかけては、給与費明細書をつけておりますので、後ほど御覧いただきたいと思っております。

以上で歳出を終わります。次に、歳入の説明をいたします。7ページをお開きください。

7ページの2、歳入であります。

1款使用料及び手数料1項使用料1目水道使用料は1,091件分で5,170万円の予算計上であります。

2項手数料1目水道手数料は8万円の計上で、1節設計手数料のうち新設工事審査手数料とその他の工事審査手数料で、それぞれ5件分。2節指定手数料は、給水装置工事事業者指定申請書審査手数料で2件分。

2款財産収入1項財産売払収入1目物品売払収入は、科目存置。

3款繰入金1項他会計繰入金1目一般会計繰入金は1億2,911万3,000円、前年比90万7,000円の減額の予算計上であります。内訳は、建設改良費分が6,512万3,000円、高料金対策分が3,501万3,000円、財政対策分が2,892万円、地方公営企業法の適用に要する経費分5万7,000円であります。

8ページをお開きください。

4款1項1目繰越金は前年度繰越金で、前年同額の50万円の計上。

5款諸収入1項1目雑入は771万2,000円、前年比437万9,000円の増額の計上で、内訳は説明欄に記載のとおりであります。その中で一つ目の建物災害共済金は陸別浄水場の風害によります屋根破損に係る50%分の保険金、四つ目の水道管移設等補償費は道営事業のトナム地区農道整備に伴う配水管支障移転に係る補償費であります。

6款1項町債1目簡易水道事業債1,640万円の計上は、配水管整備事業420万円と、地方公営企業法適用化事業1,220万円であります。

以上で、歳入は終わります。

続きまして、4ページをお開きください。

4ページは、第2表地方債であります。

起債の目的と限度額につきましては、過疎対策事業が配水管整備事業で210万円、簡易水道事業が配水管整備事業で210万円と地方公営企業法適用化事業が1,220万円の合わせて1,430万円。起債の方法、利率、償還の方法は、記載のとおりであります。

以上で議案第25号の説明を終わります。次に、議案第26号の説明に移ります。

議案第26号令和4年度陸別町の公共下水道事業特別会計予算は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算。

第1条第2項、歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第1表歳入

歳出予算」による。

地方債。

第2条、地方自治法第230条第1項の規定により起こすことのできる地方債の起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、「第2表地方債」による。

一時借入金。

第3条、地方自治法第235条の3第2項の規定による一時借入金の借入れの最高額は5,000万円と定めるであります。

それでは、これより事項別明細書の歳出から説明いたします。予算書10ページをお開きください。

10ページ、3、歳出であります。

1款総務費1項総務管理費1目一般管理費は1,439万4,000円、前年比807万2,000円の減額の予算計上であります。昨年は、下水道台帳整備のためのデータ構築と固定資産台帳整備を実施しておりまして、これらが今年はないということで、それが主な原因となっております。このほか、2節給料から次のページの26節公課費まで、例年同様の計上であります。

11ページに移りまして、2款施設費1項施設管理費1目施設維持費は5,204万8,000円、前年比303万4,000円の減額の計上であります。12ページのほうをお開きください。下段になります17節備品購入費の管理用備品につきましては、水道メーター3戸、浄化センター用の消火器8本の更新であります。そのほか、11ページの10節需用費から12ページの12節委託料まで、例年同様の計上であります。

13ページに移りまして、3款事業費1項下水道整備費1目下水道建設費は1,293万5,000円、前年比910万円の増額の予算計上であります。8節旅費及び10節需用費は、例年同額。12節委託料は、機器更新工事に伴います実勢価格調査で60万円。14節工事請負費は、公共汚水柵3か所の新設で165万円、浄化センターの汚泥脱水設備の更新で1,050万円の計上であります。なお、議案説明書、資料ナンバー84に浄化センターの機器更新事業箇所図がありますので、後ほど御覧いただきたいと思っております。

4款1項公債費1目元金と2目利子は、合わせて5,843万3,000円、前年比233万1,000円の増額の予算計上であります。元金の償還が5,313万1,000円、利子の償還が527万7,000円、一時借入金の利子は2万5,000円を計上しております。

20ページに、地方債の現在高見込み調書がありますので、後ほど御覧いただきたいと思っております。

14ページをお開きください。

5款1項1目予備費につきましては、前年同額の100万円を計上しております。

それから、15ページから19ページにかけましては、給与費明細書をつけておりま

すので、後ほど御覧いただきたいと思ひます。

以上で歳出を終わひまして、次に、歳入の説明を行います。7ページをお開きください。

7ページ、2、歳入であります。

1款分担金及び負担金1項分担金1目下水道事業分担金は、24戸の受益者分担金で60万円の予算計上であります。

2款使用料及び手数料1項使用料1目下水道使用料は、837件分で2,530万円の計上。

2項手数料1目下水道手数料6万2,000円の予算計上は、1節下水道手数料が業者指定手数料1件分、新設工事審査手数料5件分、その他工事審査手数料3件分でありまひす。

3款国庫支出金1項国庫補助金1目下水道事業補助金は550万円の予算計上で、浄化センターの機器更新事業の補助金であります。

8ページをお開きください。

4款財産収入1項財産売払収入1目物品売払収入は、科目存置。

5款繰入金1項他会計繰入金1目一般会計繰入金は1億124万7,000円、前年比40万円の減額の予算計上であります。内訳は、高資本費対策分が767万2,000円、建設改良分428万6,000円、財政対策分4,344万円、分流式下水道に要する経費分4,487万9,000円、地方公営企業法の適用に要する経費分が97万円あります。

6款1項1目繰越金は前年度繰越金で、前年同額の50万円の計上。

7款1項町債1目下水道事業債は560万円の予算計上で、特定環境保全公共下水道事業440万円、地方公営企業法適用化事業120万円の計上であります。

以上で歳入を終わひまして、次に、予算書4ページをお開きください。

予算書4ページは、第2表地方債であります。

起債の目的と限度額でありますひが、過疎対策事業220万円は特定環境保全公共下水道事業、下水道事業は340万円で、特定環境保全公共下水道事業220万円と地方公営企業法適用化事業の120万円あります。起債の方法、利率、償還の方法は、記載のとおりとなっております。

以上で議案第26号の説明を終わひまして、議案第27号の説明に移ります。

議案第27号令和4年度陸別町の介護保険事業勘定特別会計予算は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算。

第1条第2項、歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第1表歳入歳出予算」による。

歳出予算の流用。

第2条、地方自治法第220条第2項ただし書の規定により歳出予算の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

第1号、保険給付費の各項に計上された予算額に過不足を生じた場合における同一款内でのこれらの経費の各項の間の流用。

一時借入金。

第3条、地方自治法第235条の3第2項の規定による一時借入金の借入れの最高額は5,000万円と定めるであります。

それでは、これより事項別明細書により説明をいたします。

歳出から説明いたしますので、11ページをお開きください。

3、歳出であります。

1款総務費1項総務管理費1目一般管理費は11万2,000円で、前年同額の予算計上であります。8節旅費から22節償還金利子及び割引料まで、例年同様。

2項1目賦課徴収費も24万5,000円で、例年同様。

3項1目介護認定審査会費も226万9,000円で、前年比5万1,000円の減額ですが、例年同様の予算計上であります。

12ページをお開きください。

2目認定調査費は、認定調査を140件見込みまして62万1,000円の計上であります。

2款保険給付費1項介護サービス等諸費1目居宅介護サービス給付費は、133名分、1億2,145万2,000円。

2目居宅介護サービス計画給付費は、49件分、769万2,000円。

3目施設介護サービス給付費は、特別養護老人ホームが40名、老人保健施設が4名の44名分、1億2,735万8,000円。

4目居宅介護福祉用具購入費は、5件分、45万円。

5目居宅介護住宅改修費も、5件分で90万円の計上であります。

13ページに移りまして、2項介護予防サービス等諸費1目介護予防サービス給付費は、17名分、255万1,000円。

2目介護予防サービス計画給付費は、11件分、65万5,000円。

3目介護予防福祉用具購入費は、5件分、45万円。

4目介護予防住宅改修費は、3件分、54万円。

3項その他の諸費1目審査支払手数料は17万3,000円、前年比2万1,000円の増額の計上であります。。

次に、14ページに移ります。

4項高額介護サービス等費1目高額介護サービス費は、46名分、580万7,000円。

2目高額介護予防サービス費は、科目存置。

5 項高額医療合算介護サービス等費 1 目高額医療合算介護サービス費は、6 1 名分、3 3 2 万 8, 0 0 0 円。

2 目高額医療合算介護予防サービス費は、科目存置。

6 項特定入所者介護サービス等費 1 目特定入所者介護サービス費は、4 3 名分、1, 8 2 2 万 6, 0 0 0 円の計上であります。

1 5 ページに移りまして、2 目特例特定入所者介護サービス費、3 目特定入所者介護予防サービス費、4 目特例特定入所者介護予防サービス費は、いずれも科目存置であります。

次に、3 款地域支援事業費 1 項 1 目介護予防・生活支援サービス事業費は 6 3 1 万 4, 0 0 0 円。1 2 節委託料及び 1 8 節負担金補助及び交付金は、いずれも例年同様の計上であります。なお、1 2 節の委託料の総合事業委託料は、訪問型サービス A の利用 6 名で、延べ 6 8 4 回分の利用を見ております。1 8 節負担金補助及び交付金の第 1 号事業給付費は、訪問介護で 6 名、延べ 6 1 名分、通所介護で 1 7 名、延べ 1 3 2 名分の利用を見込んでおります。

2 目介護予防ケアマネジメント事業費は 2 5 万 7, 0 0 0 円、前年比 1 0 万円の増額の計上で、1 2 節委託料は、総合事業委託料 3 9 件分で 2 0 万 4, 0 0 0 円。次に、1 6 ページをお開きください。1 8 節の負担金補助及び交付金は、第 1 号介護予防支援事業費で、延べ 1 2 人分、5 万 3, 0 0 0 円の計上。

2 項 1 目一般介護予防事業費は 7 4 万 3, 0 0 0 円で、例年同様の計上であります。なお、1 2 節委託料の介護予防事業は、社協への委託事業で、ふまねっと運動、地域リハビリテーション活動事業、これは理学療法士の招聘であります。現在、足寄町国保病院に委託しておりますが 2 6 万 4, 0 0 0 円の計上であります。

3 項包括的支援事業・任意事業費 1 目包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費も 9 4 万 2, 0 0 0 円で、例年同様の計上であります。こちらも、1 2 節の委託料になりますが、介護予防サービス計画作成料は町居宅介護支援事業所 7 7 件分となっております。

1 7 ページに移ります。

2 目任意事業費も 1 7 0 万 7, 0 0 0 円で、例年同様の計上であります。1 1 節役務費の成年後見制度利用支援申立費は、1 名分、1 0 万 9, 0 0 0 円。1 2 節委託料の任意事業は、社協が実施します給食サービスで、年間で延べ 1, 8 6 0 食の利用を見込みまして 1 0 3 万 8, 0 0 0 円。ケアプランの点検事業などで 2 0 万 5, 0 0 0 円。1 9 節扶助費の支援費、地域生活支援費につきましては成年後見制度利用に係る報酬助成で 3 3 万 6, 0 0 0 円の計上であります。

3 目認知症総合支援事業費 1 0 2 万 8, 0 0 0 円で、例年同様の計上。1 2 節委託料の認知症総合支援業務につきましては、認知症カフェ実施の社協への委託であります。

1 8 ページをお開きください。

4目の生活支援体制整備事業費475万7,000円は、生活支援コーディネーター業務の社協への委託。

5目在宅医療・介護連携事業費11万円の計上は、医療介護関係者の研修の委託でありまして、ケアプランの演習を予定しております。

4項その他諸費1目審査支払手数料は、総合事業に係る審査支払手数料で1万3,000円の計上。

4款1項基金積立金1目介護給付費準備基金積立金は、1,000円の計上でありませぬ。

5款諸支出金1項償還金及び還付加算金1目第1号被保険料還付金は、前年同額の10万円の計上。

2目介護給付費負担金等返還金は、科目存置。

19ページに移りまして、2項繰出金1目他会計繰出金は、保険者機能強化推進交付金の一般会計の繰出金35万3,000円の計上であります。

6款1項1目予備費100万円は、前年同額の計上であります。

以上で歳出を終わりました、次に、歳入の説明を行います。7ページをお開きください。

7ページの歳入であります、歳入の説明の前に、歳出に係ります財源充当の説明資料としまして、議案説明書、資料ナンバー85に介護給付費財源充当資料、資料ナンバー86に地域支援事業財源充当資料をつけておりますので、後ほど御覧いただきたいと思ひます。

それでは、2、歳入であります。

1款1項介護保険料1目第1号被保険者保険料は5,002万5,000円の予算計上であります。1節現年度分4,992万5,000円は、普通徴収保険料69名分、特別徴収保険料は793名分。2節滞納繰越分10万円は、前年同額の計上であります。

2款国庫支出金1項国庫負担金1目介護給付費負担金は、介護給付費の20%、施設分15%分の5,154万5,000円の計上。

2項国庫補助金1目調整交付金は、介護給付費の8.5%分の2,449万2,000円の計上。

2目地域支援事業交付金492万9,000円は、介護予防・日常生活支援総合事業の25%分、178万4,000円、介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業の38.5%分、314万5,000円の計上であります。

3目保険者機能強化推進交付金は35万3,000円。

4目保険者努力支援交付金は34万円の計上であります。

続きまして、8ページに移ります。

3款道支出金1項道負担金1目介護給付費負担金は、介護給付費の12.5%、施設分の17.5%分の4,255万9,000円の計上。

2 項道補助金 1 目地域支援事業交付金 2 4 6 万 3, 0 0 0 円は、介護予防・日常生活支援総合事業の 1 2. 5 %分、8 9 万 2, 0 0 0 円、介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業の 1 9. 2 5 %分、1 5 7 万 1, 0 0 0 円の計上。

4 款 1 項支払基金交付金 1 目介護給付費交付金は、介護給付費の 2 7 %分、7, 8 1 8 万円の計上。

2 目地域支援事業支援交付金 1 9 2 万 8, 0 0 0 円も、同じく 2 7 %分の計上でありませぬ。

5 款財産収入 1 項財産運用収入 1 目利子及び配当金は、1, 0 0 0 円の計上でありませぬ。

9 ページに移りまして、6 款繰入金 1 項他会計繰入金 1 目一般会計繰入金は 4, 7 8 9 万 6, 0 0 0 円の予算計上でありませぬ。1 節介護給付費繰入金は、介護給付費の 1 2. 5 %で 3, 6 1 9 万円。2 節事務費繰入金は 4 2 4 万 2, 0 0 0 円。3 節地域支援事業繰入金は、介護予防・日常生活支援総合事業の 1 2. 5 %と事務費を合わせまして 9 0 万 3, 0 0 0 円、介護予防・日常生活支援総合事業以外の地域支援事業の 1 9. 2 %分と事務費を合わせて 1 5 8 万 1, 0 0 0 円。4 節低所得者保険料軽減繰入金が 4 9 8 万円の計上でありませぬ。これには、国の 2 分の 1、道の 4 分の 1 の負担がありませぬ。

2 項基金繰入金 1 目介護給付費準備基金繰入金は 4 8 9 万 8, 0 0 0 円の計上。

7 款 1 項 1 目繰越金は前年度繰越金で、科目存置。

次に、8 款諸収入 1 項延滞金及び過料 1 目第 1 号被保険者延滞金と、1 0 ページに移りまして、2 目の第 1 号被保険者過料につきましては、科目存置。

2 項雑入 1 目滞納処分費、2 目の第三者納付金、3 目の返納金につきましても、科目存置。

4 目雑入 5 4 万 5, 0 0 0 円は、1 節雑入で介護扶助審査判定業務費。これはケアプラン作成でありまして、7 7 件分、3 6 万 8, 0 0 0 円。総合事業利用者負担金は、訪問型サービス A の利用に係る 1 0 %分の利用者負担金 1 7 万 7, 0 0 0 円の計上でありませぬ。

以上で議案第 2 7 号の説明を終わりました、次に、議案第 2 8 号の説明に移ります。

議案第 2 8 号令和 4 年度陸別町の後期高齢者医療特別会計予算は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算。

第 1 条第 2 項、歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第 1 表歳入歳出予算」による。

一時借入金。

第 2 条、地方自治法第 2 3 5 条の 3 第 2 項の規定による一時借入金の借入れの最高額は 2, 0 0 0 万円と定めるであります。

これより、事項別明細書で説明をいたします。

歳出から説明いたしますので、9 ページをお開きください。

9 ページ、3、歳出であります。

1 款総務費 1 項総務管理費 1 目一般管理費は 2 7 4 万 8, 0 0 0 円の予算計上であります。8 節旅費から 1 9 節扶助費まで、例年同様の計上となっております。なお、1 2 節の委託料であります。健康診断等は 8 0 人分、各種予防接種は、インフルエンザ予防接種で 4 0 0 人分、高齢者肺炎球菌予防接種で 2 0 人分、共同電算処理は 6 2 1 通分の計上であります。1 9 節扶助費の定期予防接種費助成は、インフルエンザ予防接種が 2 0 名分、高齢者肺炎球菌予防接種分が 2 人分の計上であります。

次に、1 0 ページに移ります。

2 款 1 項 1 目後期高齢者医療広域連合納付金は 4, 4 5 1 万 6, 0 0 0 円の計上であります。1 8 節負担金補助及び交付金は、全て広域連合への納付金でありまして、事務費負担金が 2 0 7 万 1, 0 0 0 円、保険料等負担金は、保険料分が 2, 8 4 6 万 4, 0 0 0 円、保険基盤安定分が 1, 3 9 8 万 1, 0 0 0 円であります。

3 款諸支出金 1 項償還金及び還付加算金 1 目保険料還付金の 1 0 万円、2 目還付加算金 1 万円は、いずれも前年同額。

4 款 1 項 1 目予備費 3 0 万円も、前年同額の計上であります。

以上で歳出を終わりました。次に、歳入の説明を行います。7 ページをお開きください。

7 ページ、2、歳入であります。

1 款 1 項後期高齢者医療保険料は、被保険者 5 4 0 名分であります。

1 目特別徴収保険料は 1, 5 6 3 万 6, 0 0 0 円の予算計上で、保険料総額の 5 5. 2 9 % 分となっております。

2 目普通徴収保険料は 1, 2 8 2 万 8, 0 0 0 円の計上で、1 節現年度分は 4 4. 7 1 % 分と過年度分の 1 万円。2 節滞納繰越分が 1 7 万 4, 0 0 0 円の計上であります。

2 款広域連合支出金 1 項 1 目広域連合交付金は、新設科目で 1 1 4 万円の予算計上であります。長寿・健康増進事業補助金につきましては、インフルエンザワクチン予防接種分の 7 0 % 補助 1 0 9 万 5, 0 0 0 円、特別調整交付金は、広報紙掲載費用分 4 万 5, 0 0 0 円あります。

3 款繰入金 1 項他会計繰入金 1 目事務費繰入金は 3 3 9 万 8, 0 0 0 円の計上で、内訳につきましては、広域連合事務費負担分が 2 0 7 万 1, 0 0 0 円、インフルエンザ予防接種分が 4 4 万 3, 0 0 0 円、高齢者肺炎球菌予防接種分が 2 万 7, 0 0 0 円、その他の事務費分が 8 5 万 8, 0 0 0 円となっております。

2 目保険基盤安定繰入金 1, 3 9 8 万 1, 0 0 0 円は、道負担分が 4 分の 3、町負担分が 4 分の 1 であります。

8 ページをお開きください。

4 款諸収入 1 項延滞金及び過料 1 目延滞金は、科目存置。

2 項償還金及び還付加算金 1 目保険料還付金の 1 0 万円と 2 目還付加算金 1 万円の計

上は、広域連合からの補填分で、歳入歳出同額の計上となっております。

3項1目雑入58万円は、広域連合からの健康診査に係る助成金であります。なお、議案説明書、資料ナンバー87に、この会計の予算の流れが分かりますフロー図がつけられていますので、後ほど御覧いただきたいと思えます。

以上で、議案第22から議案第28号までの説明を終わります。以後、御質問によりお答えしてまいりますので、御審議のほどよろしくお願いいたします。

以上であります。

○議長（本田 学君） 副町長におかれましては、大変お疲れさまでした。

◎延会の議決

○議長（本田 学君） お諮りします。

本日の会議は、これで延会にしたいと思えます。御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（本田 学君） 異議なしと認めます。

したがって、本日は、これで延会することに決定しました。

◎延会宣告

○議長（本田 学君） 本日は、これにて延会します。

延会 午後 2時46分

以上、地方自治法第 1 2 3 条第 2 項の規定により署名する。

議長

議員

議員